

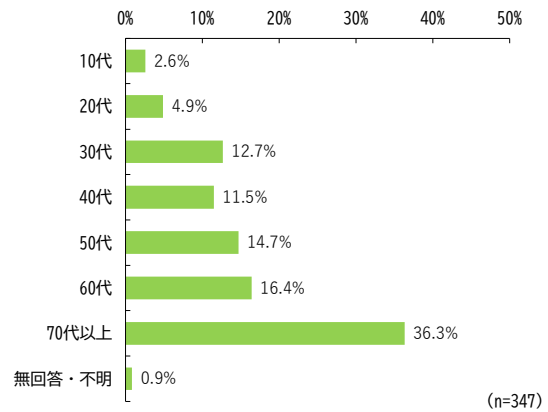
地球温暖化防止に関するアンケート結果【住民】

【対象】 播磨町内在住の住民 1,000世帯(無作為抽出)
 【調査方法】 郵送方式(料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送)またはWEB回答
 【調査期間】 2025年7月28日(月)~8月22日(金)
 【回収状況】 配布:1,000通 有効回収票:347通(紙:283通、WEB:64通) ⇒ 有効回収率:35%

1.あなたご自身のことについて

問1-1.あなたのご年齢について、あてはまるものを1つ選んでください。

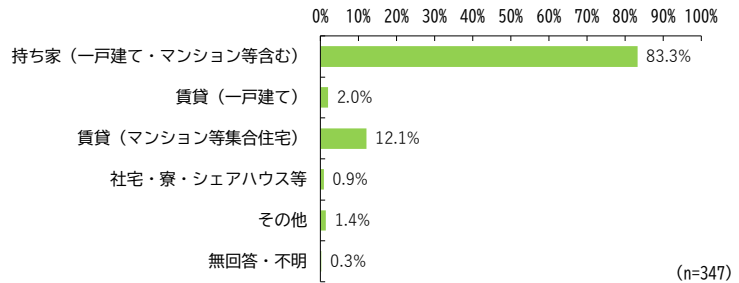
選択肢	回答数
10代	9
20代	17
30代	44
40代	40
50代	51
60代	57
70代以上	126
無回答・不明	3
合計	347



回答者の年齢は「70代以上」が最も多く36.3%であった。次いで「60代」が16.4%、「20代以下」は10%未満となっている。

問1-2.あなたの居住形態について、あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
持ち家(一戸建て・マンション等含む)	289
賃貸(一戸建て)	7
賃貸(マンション等集合住宅)	42
社宅・寮・シェアハウス等	3
その他	5
無回答・不明	1
合計	347

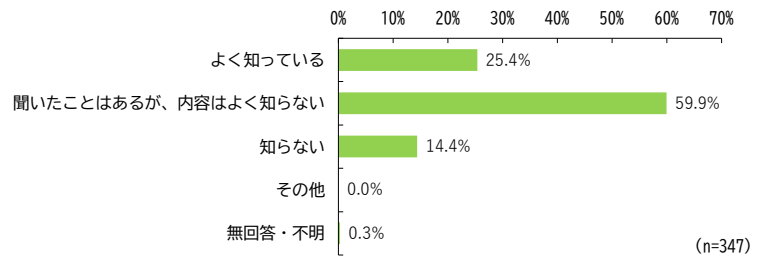


居住形態は「持ち家(一戸建て・マンション等含む)」が最も多く83.3%を占めている。次いで「賃貸(マンション等集合住宅)」が12.1%、「賃貸(一戸建て)」「社宅・寮・シェアハウス等」が5%未満となっている。

2.地球温暖化・カーボンニュートラルに関する認知度・理解度

問2.「カーボンニュートラル」という言葉を知っていますか?あてはまるものを1つ選んでください。

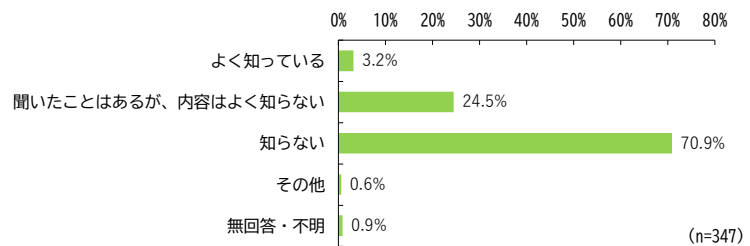
選択肢	回答数
よく知っている	88
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	208
知らない	50
その他	0
無回答・不明	1
合計	347



「カーボンニュートラル」に対する認知度については「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が最も多く59.9%となっている。次いで「よく知っている」が25.4%となっている。町のカーボンニュートラル達成を後押しするための情報提供や意識啓発を実施していく必要がある。

問3.「デコ活」という言葉を知っていますか?あてはまるものを1つ選んでください。

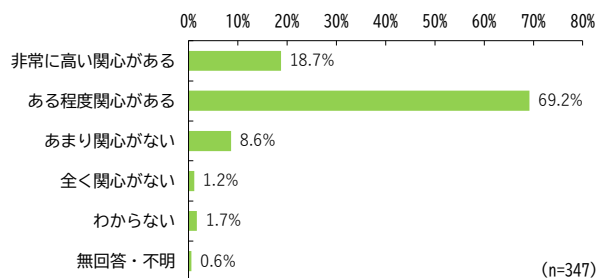
選択肢	回答数
よく知っている	11
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	85
知らない	246
その他	2
無回答・不明	3
合計	347



「デコ活」に対する認知度については「知らない」が最も多く70.9%となっている。次いで「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が24.5%となっている。本町もデコ活を推進していくため、デコ活における取組内容や取組効果など情報提供や意識啓発を実施していく必要がある。

問4.地球温暖化問題について、どの程度関心がありますか?あてはまるものを1つ選んでください。

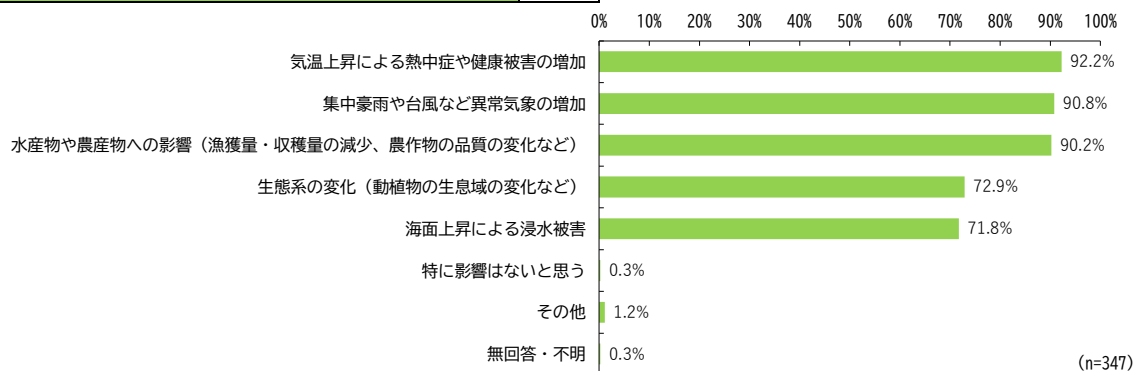
選択肢	回答数
非常に高い関心がある	65
ある程度関心がある	240
あまり関心がない	30
全く関心がない	4
わからない	6
無回答・不明	2
合計	347



地球温暖化問題への関心については「ある程度関心がある」が最も多く69.2%となっている。次いで「非常に高い関心がある」が18.7%となっていることから、約8割以上は地球温暖化問題について関心を抱いているため、気温の上昇などの気候変動状況、国や県の動向など情報提供を行うとともに、本計画策定後は計画内容を周知して行く必要がある。

問5. 地球温暖化が私たちの生活にどのような影響を与えていると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

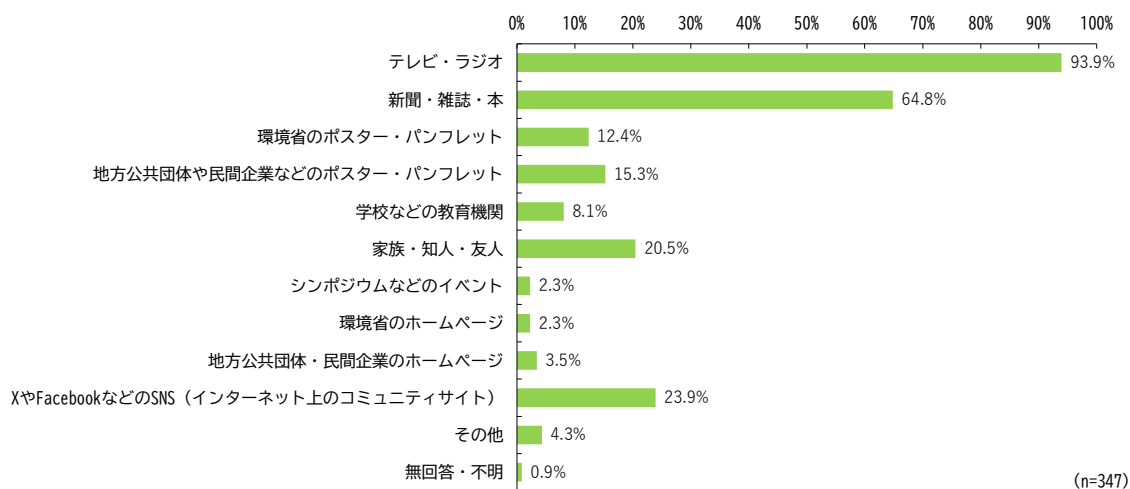
選択肢	回答数
気温上昇による熱中症や健康被害の増加	320
集中豪雨や台風など異常気象の増加	315
水産物や農産物への影響（漁獲量・収穫量の減少、農作物の品質の変化など）	313
生態系の変化（動植物の生息域の変化など）	253
海面上昇による浸水被害	249
特に影響はないと思う	1
その他	4
無回答・不明	1
回収数	347



地球温暖化による影響については「気温上昇による熱中症や健康被害の増加」が最も多く92.2%を占めており、次いで「集中豪雨や台風など異常気象の増加」が90.8%、「水産物や農産物への影響（漁獲量・収穫量の減少、農作物の品質の変化など）」が90.2%となっている。身近に起こっている影響については、多種多様な危機感を感じていると言える。

問6. あなたは、地球温暖化に関する情報を主にどこで知りますか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
テレビ・ラジオ	326
新聞・雑誌・本	225
環境省のポスター・パンフレット	43
地方公共団体や民間企業などのポスター・パンフレット	53
学校などの教育機関	28
家族・知人・友人	71
シンポジウムなどのイベント	8
環境省のホームページ	8
地方公共団体・民間企業のホームページ	12
XやFacebookなどのSNS（インターネット上のコミュニティサイト）	83
その他	15
無回答・不明	3
回収数	347

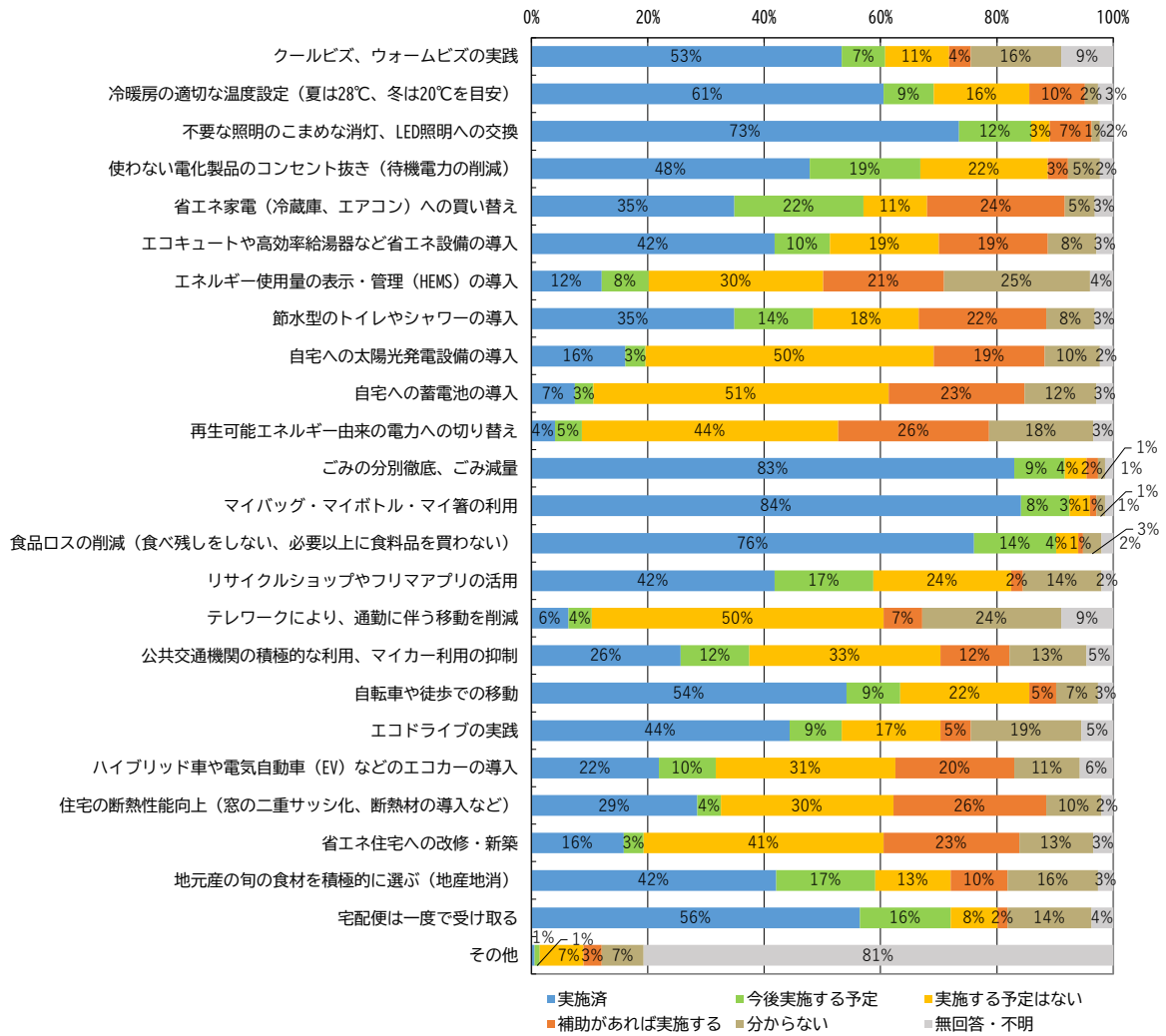


地球温暖化に関する情報を知る媒体については「テレビ・ラジオ」が最も多く93.9%を占めており、次いで「新聞・雑誌・本」が64.8%となっている。一方、イベントや町のホームページ等で情報を入手する方法は少ないと言える。

3. 日常生活での取組状況

問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目		回答数						回答計
		実施済	今後実施する予定	実施する予定はない	補助があれば実施する	分からない	無回答・不明	
省エネ行動	クールビズ、ウォームビズの実践	185	26	38	13	54	31	347
	冷暖房の適切な温度設定（夏は28℃、冬は20℃を目安）	210	30	57	33	8	9	347
	不要な照明のこまめな消灯、LED照明への交換	255	43	11	25	5	8	347
	使わない電化製品のコンセント抜き（待機電力の削減）	166	66	76	12	19	8	347
	省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え	121	77	38	82	18	11	347
	エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入	145	33	65	65	29	10	347
	エネルギー使用量の表示・管理（HEMS）の導入	42	28	104	72	87	14	347
	節水型のトイレやシャワーの導入	121	47	63	76	29	11	347
再生可能エネルギー	自宅への太陽光発電設備の導入	56	12	172	66	33	8	347
	自宅への蓄電池の導入	26	11	176	81	43	10	347
	再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	14	16	153	90	62	12	347
リサイクル削減・	ごみの分別徹底、ごみ減量	288	30	13	7	4	5	347
	マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用	292	29	12	4	5	5	347
	食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）	264	49	13	3	11	7	347
	リサイクルショップやフリマアプリの活用	145	59	82	7	47	7	347
移動	テレワークにより、通勤に伴う移動を削減	22	14	174	23	83	31	347
	公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制	89	41	114	41	46	16	347
	自転車や徒歩での移動	188	32	77	16	25	9	347
	エコドライブの実践	154	31	59	18	66	19	347
	ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入	76	34	107	71	39	20	347
住まい	住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）	99	14	103	91	33	7	347
	省エネ住宅への改修・新築	55	12	143	81	44	12	347
その他	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）	146	59	45	34	54	9	347
	宅配便は一度で受け取る	196	54	28	6	50	13	347
	その他	2	3	26	11	25	280	347
合計		3,357	850	1949	1028	919	572	347



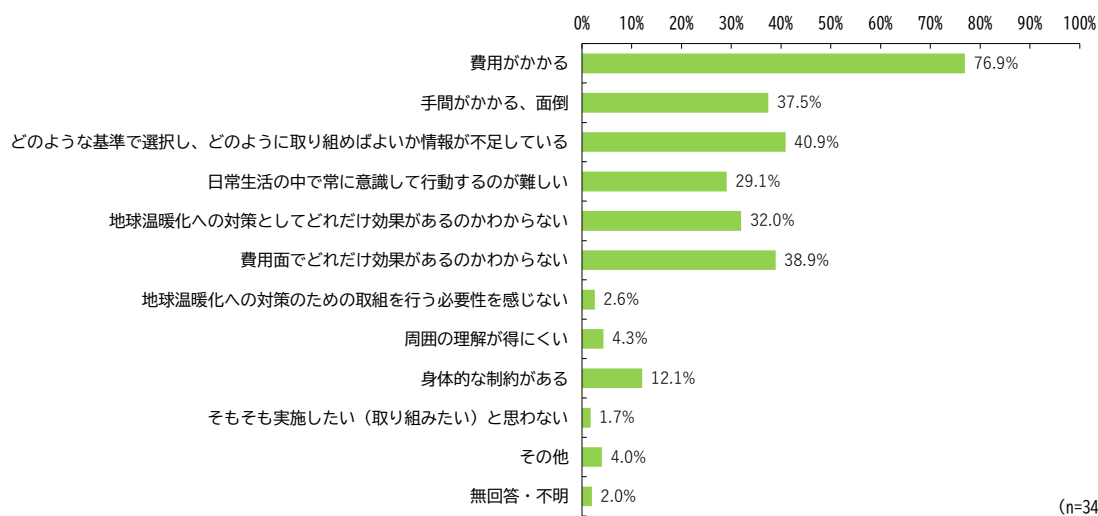
(n=347)

地球温暖化対策に関する現在の取組状況については、実施済の内容として「マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用」が最も多く、今後実施する予定の内容としては「省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え」、実施する予定はない内容としては「自宅への蓄電池の導入」、補助があれば実施する内容としては「再生可能エネルギー由来の電力への切り替え」「住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）」が最も多い割合となっている。

身近で手軽にできることについては取組が進んでいるものの、費用が高額になるほど取組が進んでいないことから、情報提供を行うとともに公的支援を行う必要がある。

問8. 問7での行動を実行する上で、特に課題だと感じることは何ですか？あてはまるものを3つ選んでください。

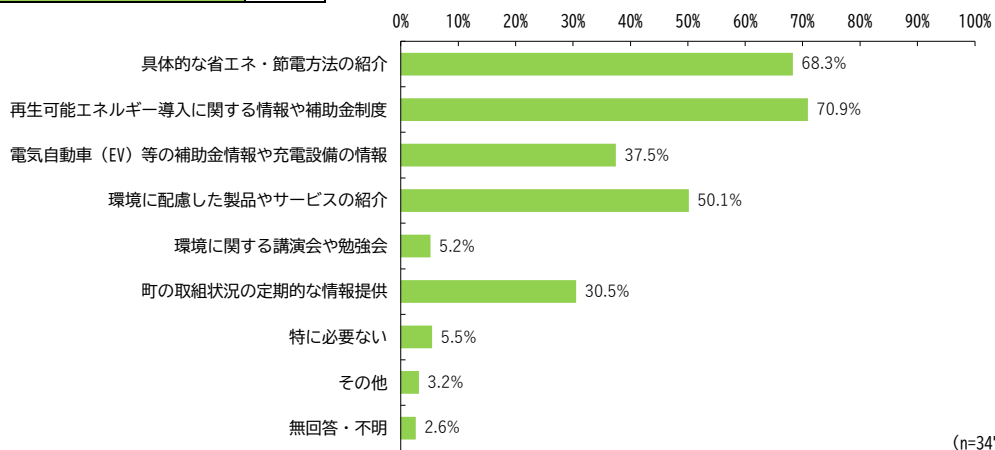
選択肢	回答数
費用がかかる	267
手間がかかる、面倒	130
どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいか情報が不足している	142
日常生活の中で常に意識して行動するのが難しい	101
地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのかわからない	111
費用面でどれだけ効果があるのかわからない	135
地球温暖化への対策のための取組を行う必要性を感じない	9
周囲の理解が得にくい	15
身体的な制約がある	42
そもそも実施したい（取り組みたい）と思わない	6
その他	14
無回答・不明	7
回収数	347



地球温暖化対策を実行する上での課題については「費用がかかる」が76.9%と最も多く、次いで「どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいか情報が不足している」が40.9%となっている。今後は、補助金制度の充実や周知徹底など、個人のライフスタイルに合わせた効果的な対策をわかりやすく解説する仕組み作りなどが必要である。

問9. 地球温暖化対策を進める上で、どのような情報や支援があれば取り組みやすくなりますか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
具体的な省エネ・節電方法の紹介	237
再生可能エネルギー導入に関する情報や補助金制度	246
電気自動車（EV）等の補助金情報や充電設備の情報	130
環境に配慮した製品やサービスの紹介	174
環境に関する講演会や勉強会	18
町の取組状況の定期的な情報提供	106
特に必要ない	19
その他	11
無回答・不明	9
回収数	347

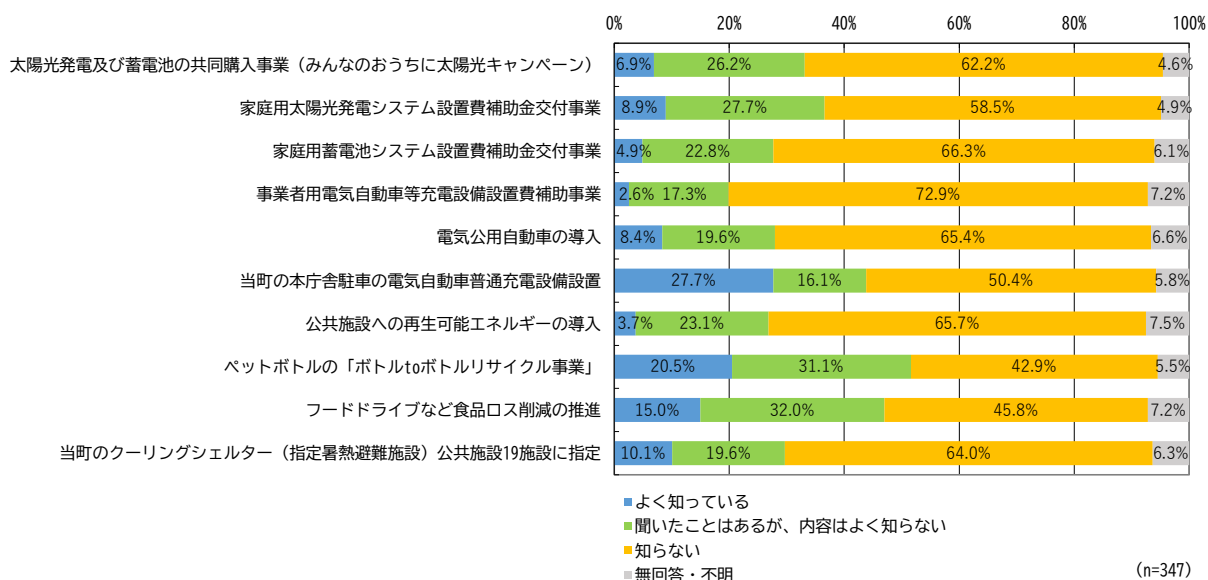


地球温暖化対策に取り組む上での必要な情報や支援については「再生可能エネルギー導入に関する情報や補助金制度」が最も多く70.9%となっており、次いで「具体的な省エネ・節電方法の紹介」が68.3%となっている。今後は、補助金制度の充実や周知徹底など、個人のライフスタイルに合わせた効果的な対策をわかりやすく解説する仕組み作りなどが必要である。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

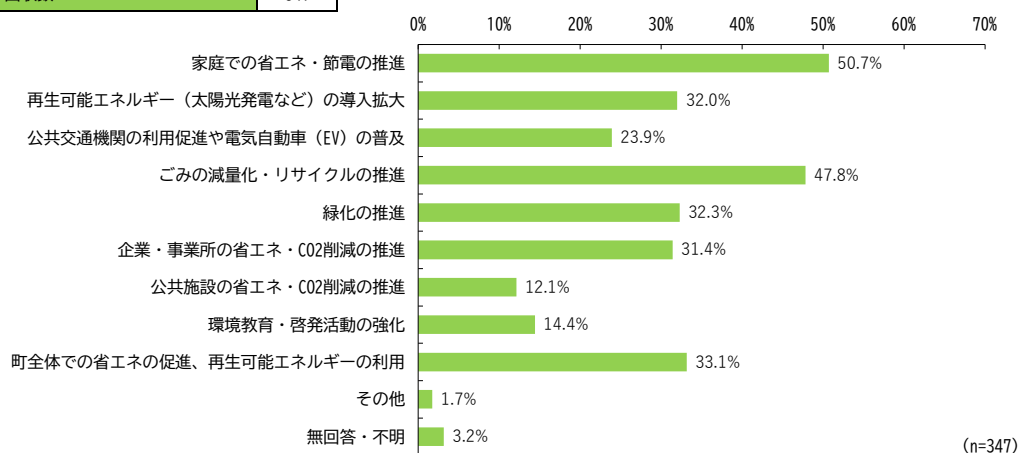
項目	回答数				
	よく知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	知らない	無回答・不明	回答計
太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）	24	91	216	16	347
家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	31	96	203	17	347
家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業	17	79	230	21	347
事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業	9	60	253	25	347
電気公用自動車の導入	29	68	227	23	347
当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置	96	56	175	20	347
公共施設への再生可能エネルギーの導入	13	80	228	26	347
ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」	71	108	149	19	347
フードドライブなど食品ロス削減の推進	52	111	159	25	347
当町のクーリングシエルト（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定	35	68	222	22	347
合計	377	817	2062	214	347



播磨町が行っているカーボンニュートラルの取組に対する認知度については、よく知っている内容として「当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置」が最も多く、聞いたことはあるが内容はよく知らない内容としては「フードドライブなど食品ロス削減の推進」、知らない内容としては「事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業」が最も多い割合となっている。全体的に知らないと回答した割合が5割以上を占めているため、町のカーボンニュートラル達成を後押しするためには、情報提供等の方法を見直す必要がある。

問11. 播磨町がカーボンニュートラルを達成するために、特に力を入れるべきだと思う分野は何ですか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
家庭での省エネ・節電の推進	176
再生可能エネルギー（太陽光発電など）の導入拡大	111
公共交通機関の利用促進や電気自動車（EV）の普及	83
ごみの減量化・リサイクルの推進	166
緑化の推進	112
企業・事業所の省エネ・CO2削減の推進	109
公共施設の省エネ・CO2削減の推進	42
環境教育・啓発活動の強化	50
町全体での省エネの促進、再生可能エネルギーの利用	115
その他	6
無回答・不明	11
回収数	347



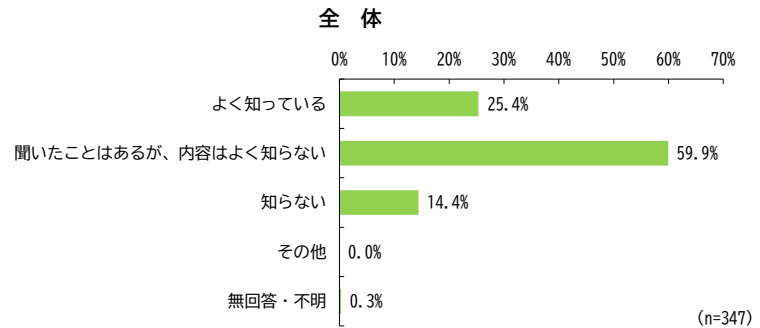
播磨町がカーボンニュートラル達成のために特に力を入れるべき分野については「家庭での省エネ・節電の推進」が最も多く50.7%となっており、次いで「ごみの減量化・リサイクルの推進」が47.8%、「町全体での省エネの促進、再生可能エネルギーの利用」が33.1%となっている。今後は、「市民の行動変容を促すこと」と「地域全体としての包括的な対策」の両面から、カーボンニュートラル達成に向けた戦略を構築する必要がある。

【住民】アンケート結果（年齢別内訳）

2.地球温暖化・カーボンニュートラルに関する認知度・理解度

問2.「カーボンニュートラル」という言葉を知っていますか？あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
よく知っている	88
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	208
知らない	50
その他	0
無回答・不明	1
合計	347



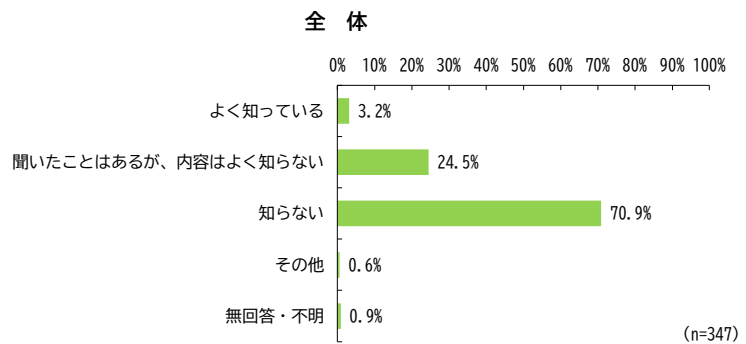
年齢別内訳

選択肢	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不明
よく知っている	88	5	4	11	12	11	16	29	0
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	208	3	9	28	24	33	36	73	2
知らない	50	1	4	5	4	7	5	24	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答・不明	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	347	9	17	44	40	51	57	126	3

「カーボンニュートラル」の認知度について世代別に見ると、「よく知っている」「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」「知らない」のいずれの回答区分においても、70代以上が多くなっている。

問3.「デコ活」という言葉を知っていますか？あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
よく知っている	11
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	85
知らない	246
その他	2
無回答・不明	3
合計	347



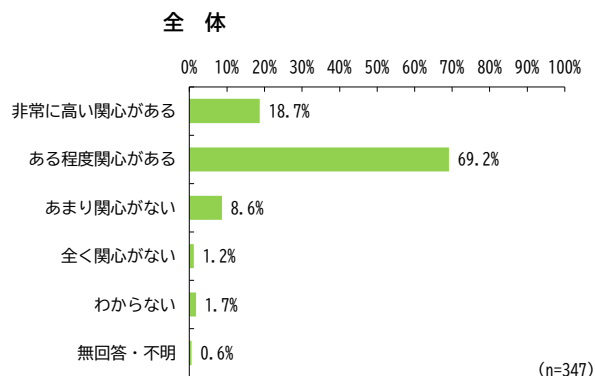
年齢別内訳

選択肢	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不明
よく知っている	11	1	0	2	1	1	3	3	0
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	85	0	1	4	7	10	20	42	1
知らない	246	8	16	38	32	40	34	77	1
その他	2	0	0	0	0	0	0	2	0
無回答・不明	3	0	0	0	0	0	0	2	1
合計	347	9	17	44	40	51	57	126	3

「デコ活」の認知度について世代別に見ると、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と回答した割合は、60代・70代以上で最も多く、「知らない」も同程度となっていることから、認知の有無が二分化している。10代～50代は、「知らない」が圧倒的に多くなっている。

問4. 地球温暖化問題について、どの程度関心がありますか？あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
非常に高い関心がある	65
ある程度関心がある	240
あまり関心がない	30
全く関心がない	4
わからない	6
無回答・不明	2
合計	347



年齢別内訳

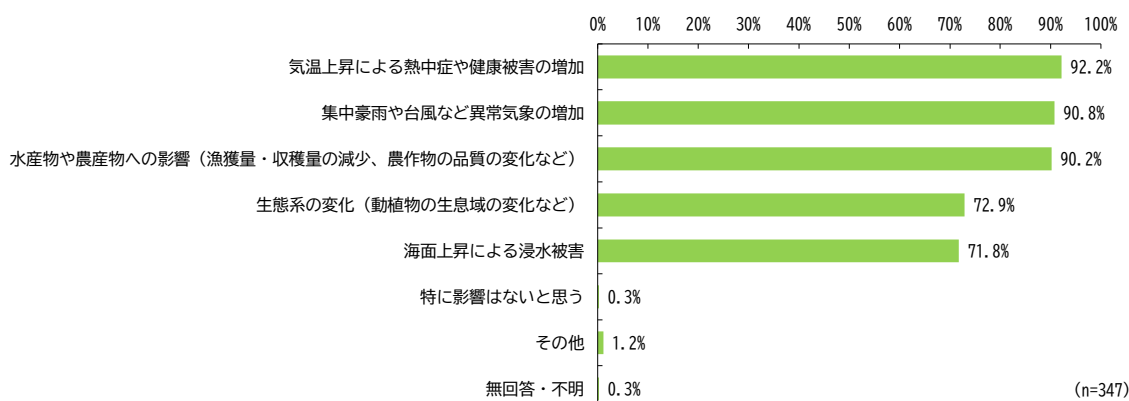
選択肢	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不明
非常に高い関心がある	65	0	1	7	7	7	11	32	0
ある程度関心がある	240	8	11	29	27	40	41	82	2
あまり関心がない	30	1	5	5	5	4	3	7	0
全く関心がない	4	0	0	3	1	0	0	0	0
わからない	6	0	0	0	0	0	2	4	0
無回答・不明	2	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	347	9	17	44	40	51	57	125	4

地球温暖化問題への関心について世代別に見ると、「非常に高い関心がある」および「ある程度関心がある」のいずれの区分においても、70代以上が最も高い割合を占めている。一方で、「あまり関心がない」と回答した割合は、20代～40代で多くなっている。

問5. 地球温暖化が私たちの生活にどのような影響を与えますか?あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数
気温上昇による熱中症や健康被害の増加	320
集中豪雨や台風など異常気象の増加	315
水産物や農産物への影響（漁獲量・収穫量の減少、農作物の品質の変化など）	313
生態系の変化（動植物の生息域の変化など）	253
海面上昇による浸水被害	249
特に影響はないと思う	1
その他	4
無回答・不明	1
回収数	347

全体



年齢別内訳

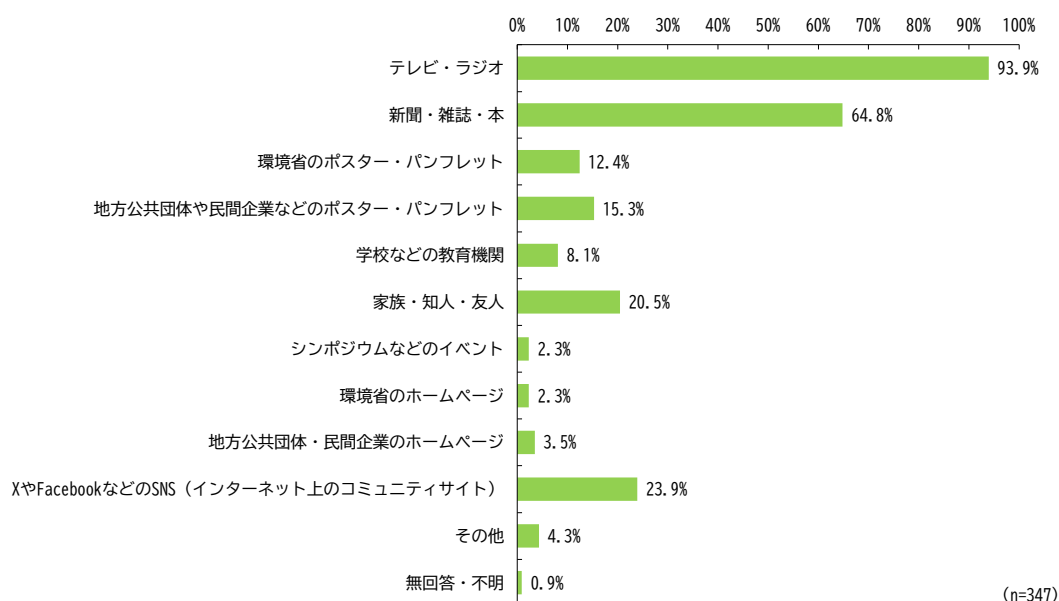
選択肢	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不明
気温上昇による熱中症や健康被害の増加	320	9	16	40	34	47	56	116	2
集中豪雨や台風など異常気象の増加	315	8	13	37	38	48	51	118	2
水産物や農産物への影響（漁獲量・収穫量の減少、農作物の品質の変化など）	313	9	13	39	38	49	52	112	1
生態系の変化（動植物の生息域の変化など）	253	9	10	30	32	36	36	98	2
海面上昇による浸水被害	249	8	10	32	33	35	39	91	1
特に影響はないと思う	1	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	4	0	0	1	0	0	0	2	1
無回答・不明	1	0	0	0	0	0	0	0	1
回収数	1456	43	62	180	175	215	234	537	10

地球温暖化による影響の認識について世代別に見ると、全ての項目において、回答割合は70代以上が最も高く、10代へ向かうにつれて順に減少する傾向が見られる。

問6. あなたは、地球温暖化に関する情報を主にどこで知りますか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
テレビ・ラジオ	326
新聞・雑誌・本	225
環境省のポスター・パンフレット	43
地方公共団体や民間企業などのポスター・パンフレット	53
学校などの教育機関	28
家族・知人・友人	71
シンポジウムなどのイベント	8
環境省のホームページ	8
地方公共団体・民間企業のホームページ	12
XやFacebookなどのSNS（インターネット上のコミュニティサイト）	83
その他	15
無回答・不明	3
回収数	347

全 体



年齢別内訳

選択肢	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不明
テレビ・ラジオ	326	8	16	40	37	45	55	123	2
新聞・雑誌・本	225	3	5	15	20	27	44	109	2
環境省のポスター・パンフレット	43	1	2	4	7	7	3	18	1
地方公共団体や民間企業などのポスター・パンフレット	53	2	1	9	3	8	6	24	0
学校などの教育機関	28	6	8	7	3	1	1	2	0
家族・知人・友人	71	2	2	7	7	7	14	32	0
シンポジウムなどのイベント	8	0	0	2	2	1	0	3	0
環境省のホームページ	8	0	0	4	0	0	2	2	0
地方公共団体・民間企業のホームページ	12	0	1	3	0	4	1	3	0
XやFacebookなどのSNS（インターネット上のコミュニティサイト）	83	4	8	22	14	13	16	6	0
その他	15	0	0	1	4	5	3	2	0
無回答・不明	3	0	0	0	0	0	0	0	3
回収数	875	26	43	114	97	118	145	324	8

地球温暖化に関する情報の取得媒体は世代によって傾向が異なり、「テレビ・ラジオ」「新聞・雑誌・本」「家族・知人・友人」といった媒体は、60代以上で多く利用されている。一方、「XやFacebookなどのSNS」の利用は30代が最も多くなっている。

3. 日常生活での取組状況

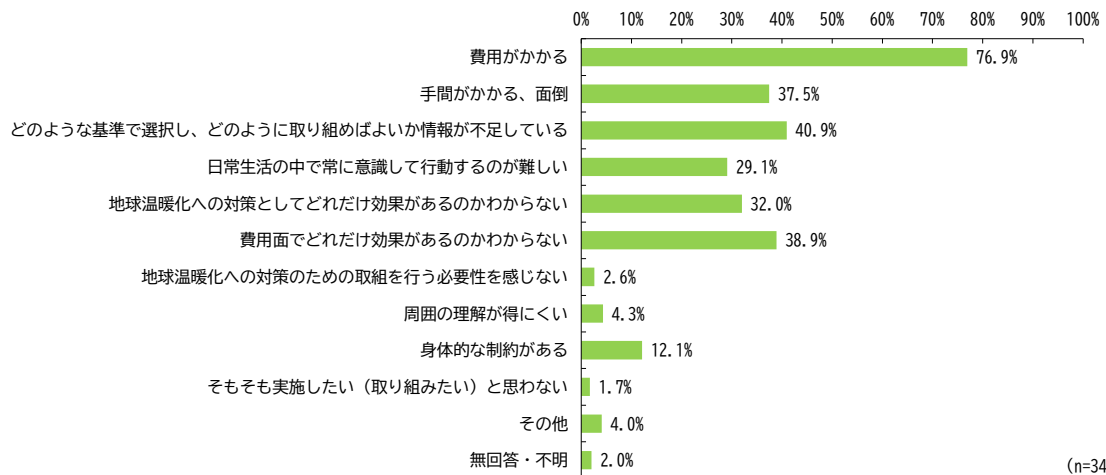
問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

別紙参照。

問8. 問7での行動を実行する上で、特に課題だと感じることは何ですか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
費用がかかる	267
手間がかかる、面倒	130
どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいか情報が不足している	142
日常生活の中で常に意識して行動するのが難しい	101
地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのかわからない	111
費用面でどれだけ効果があるのかわからない	135
地球温暖化への対策のための取組を行う必要性を感じない	9
周囲の理解が得にくい	15
身体的な制約がある	42
そもそも実施したい（取り組みたい）と思わない	6
その他	14
無回答・不明	7
回収数	347

全体



年齢別内訳

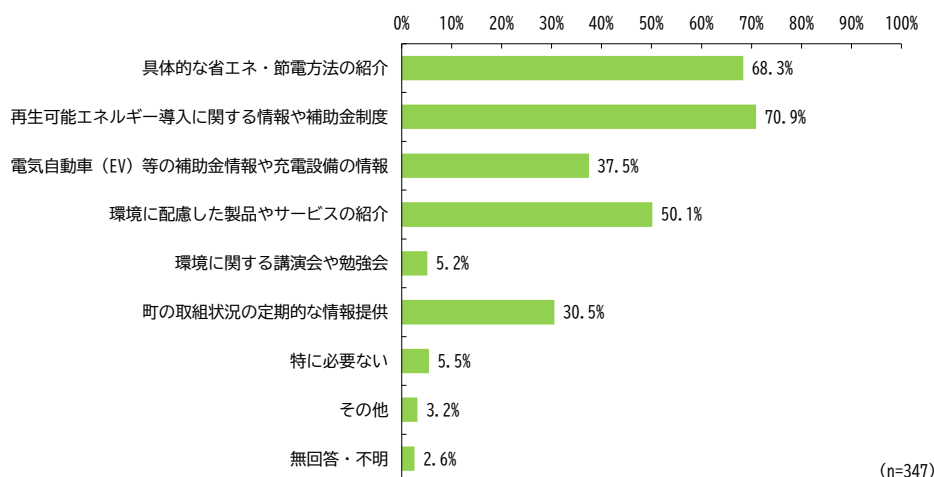
選択肢	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不明
費用がかかる	267	7	14	37	38	43	41	87	0
手間がかかる、面倒	130	6	12	19	17	19	25	31	1
どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいか情報が不足している	142	1	5	11	18	19	25	62	1
日常生活の中で常に意識して行動するのが難しい	101	4	3	16	8	11	13	45	1
地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのかわからない	111	4	3	17	10	15	18	44	0
費用面でどれだけ効果があるのかわからない	135	2	6	20	18	19	25	44	1
地球温暖化への対策のための取組を行う必要性を感じない	9	0	0	2	2	2	1	2	0
周囲の理解が得にくい	15	1	1	1	3	3	1	4	1
身体的な制約がある	42	0	2	2	1	2	9	25	1
そもそも実施したい（取り組みたい）と思わない	6	1	1	1	0	2	0	1	0
その他	14	1	0	1	0	6	2	4	0
無回答・不明	7	0	0	0	0	0	0	0	7
回収数	979	27	47	127	115	141	160	349	13

地球温暖化対策を実行する上での課題について世代別に見ると、「費用がかかる」は全世代を通じて最も大きな障壁として認識されている。60代～70代では、「身体的な制約がある」という回答が最も多くなっている。全体的に回答数は少ないものの、他の世代と比較して「費用面でどれだけ効果があるのかわからない」の回答が、30代でやや目立つ。

問9. 地球温暖化対策を進める上で、どのような情報や支援があれば取り組みやすくなりますか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
具体的な省エネ・節電方法の紹介	237
再生可能エネルギー導入に関する情報や補助金制度	246
電気自動車（EV）等の補助金情報や充電設備の情報	130
環境に配慮した製品やサービスの紹介	174
環境に関する講演会や勉強会	18
町を取組状況の定期的な情報提供	106
特に必要ない	19
その他	11
無回答・不明	9
回収数	347

全体



年齢別内訳

選択肢	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不明
具体的な省エネ・節電方法の紹介	237	4	10	31	29	29	41	93	0
再生可能エネルギー導入に関する情報や補助金制度	246	9	12	34	35	44	38	73	1
電気自動車（EV）等の補助金情報や充電設備の情報	130	6	7	24	25	24	16	27	1
環境に配慮した製品やサービスの紹介	174	4	4	19	15	25	36	70	1
環境に関する講演会や勉強会	18	1	0	3	2	1	1	10	0
町を取組状況の定期的な情報提供	106	1	4	7	8	13	15	58	0
特に必要ない	19	1	1	4	0	4	4	5	0
その他	11	0	1	3	2	2	2	1	0
無回答・不明	9	0	0	0	0	0	0	0	9
回収数	950	26	39	125	116	142	153	337	12

地球温暖化対策に取り組む上での必要な情報や支援について世代別に見ると、全ての項目において70代以上の回答が多くなっている。「再生可能エネルギー導入に関する情報や補助金制度」「具体的な省エネ・節電方法の紹介」については、幅広い世代からの回答がおこなわれている。「電気自動車（EV）等の補助金情報や充電設備の情報」については、30代、40代、50代で相対的に関心が高くなっている。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

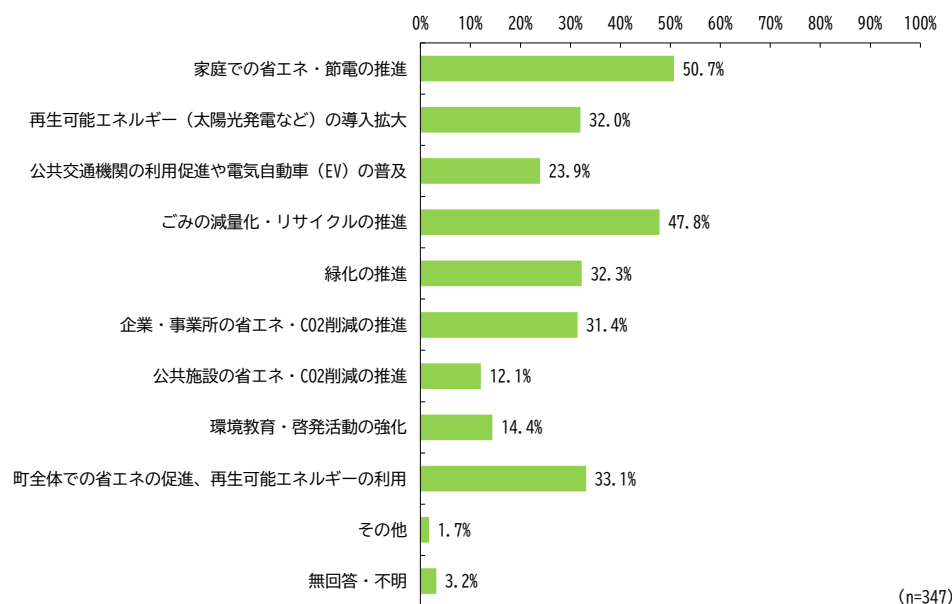
問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

別紙参照。

問11. 播磨町がカーボンニュートラルを達成するために、特に力を入れるべき分野は何ですか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
家庭での省エネ・節電の推進	176
再生可能エネルギー（太陽光発電など）の導入拡大	111
公共交通機関の利用促進や電気自動車（EV）の普及	83
ごみの減量化・リサイクルの推進	166
緑化の推進	112
企業・事業所の省エネ・CO2削減の推進	109
公共施設の省エネ・CO2削減の推進	42
環境教育・啓発活動の強化	50
町全体での省エネの促進、再生可能エネルギーの利用	115
その他	6
無回答・不明	11
回収数	347

全 体



年齢別内訳

選択肢	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不明
家庭での省エネ・節電の推進	176	5	9	28	14	24	34	61	1
再生可能エネルギー（太陽光発電など）の導入拡大	111	1	9	22	15	23	16	25	0
公共交通機関の利用促進や電気自動車（EV）の普及	83	2	6	11	10	10	16	28	0
ごみの減量化・リサイクルの推進	166	5	7	22	16	16	28	72	0
緑化の推進	112	4	8	15	13	17	18	36	1
企業・事業所の省エネ・CO2削減の推進	109	6	2	7	16	15	20	43	0
公共施設の省エネ・CO2削減の推進	42	0	3	3	6	6	5	19	0
環境教育・啓発活動の強化	50	2	2	6	8	11	7	14	0
町全体での省エネの促進、再生可能エネルギーの利用	115	2	3	14	15	16	21	43	1
その他	6	0	0	0	0	0	0	0	6
無回答・不明	11	0	0	0	0	0	0	0	11
回収数	981	27	49	128	113	138	165	341	20

播磨町がカーボンニュートラル達成のために特に力を入れるべき分野について世代別に見ると、「家庭での省エネ・節電の推進」「ごみの減量化・リサイクルの推進」については60代以上の回答が多くなっている。「再生可能エネルギーの導入拡大」「町全体での省エネの促進、再生可能エネルギーの利用」「企業・事業所の省エネ・CO2削減の推進」については、30代～50代の回答が比較的多くなっている。一方、20代未満の回答では「公共交通機関の利用促進や電気自動車（EV）の普及」「緑化の推進」が多く見られた。

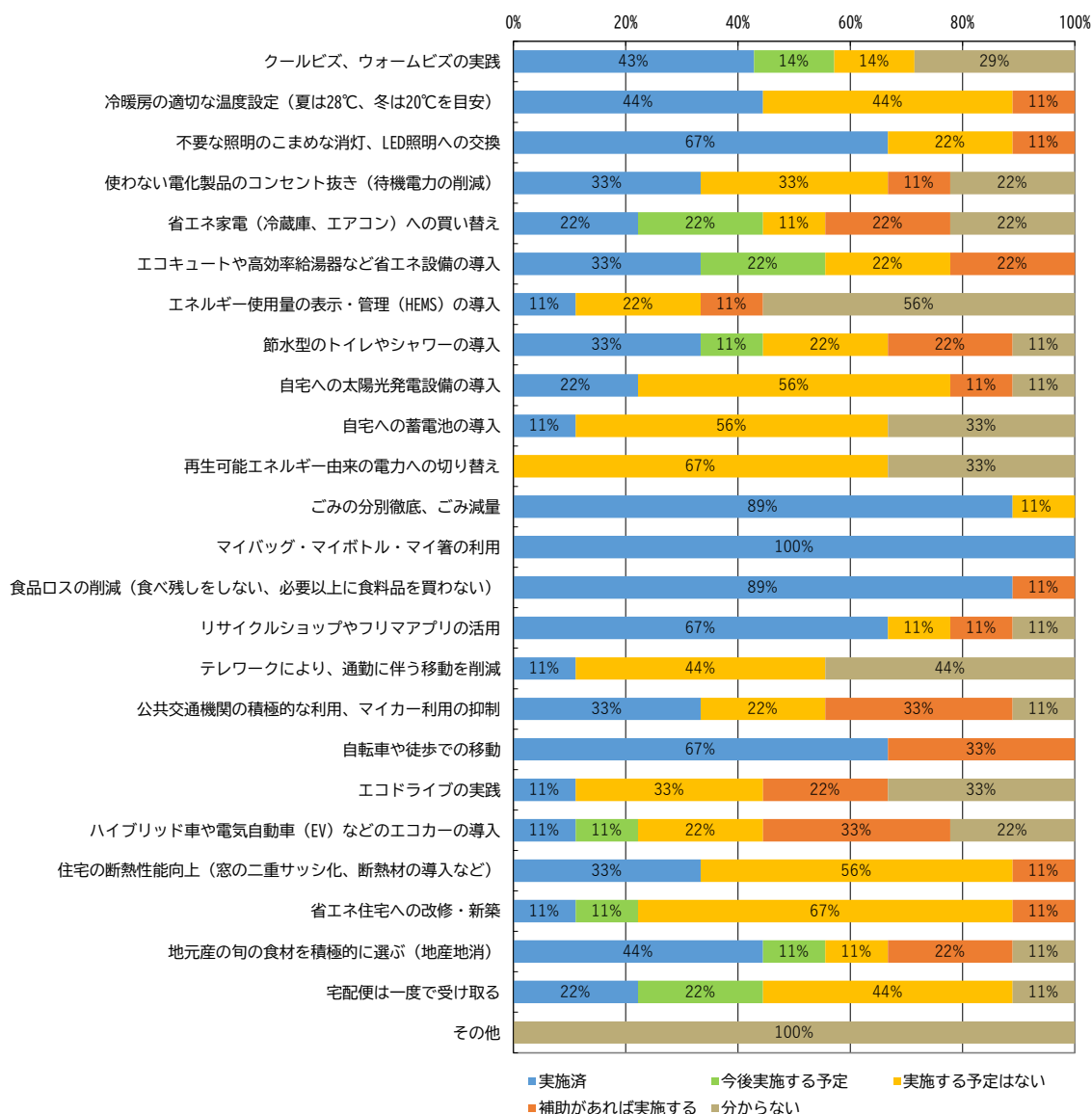
【住民】アンケート結果（年齢別内訳）問7・問10（10代）

3. 日常生活での取組状況

問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目		回答数						回答計
		実施済	今後実施する予定	実施する予定はない	補助があれば実施する	分からない	無回答・不明	
省エネ行動	クールビズ、ウォームビズの実践	3	1	1	0	2	0	7
	冷暖房の適切な温度設定（夏は28℃、冬は20℃を目安）	4	0	4	1	0	0	9
	不要な照明のこまめな消灯、LED照明への交換	6	0	2	1	0	0	9
	使わない電化製品のコンセント抜き（待機電力の削減）	3	0	3	1	2	0	9
	省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え	2	2	1	2	2	0	9
	エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入	3	2	2	2	0	0	9
	エネルギー使用量の表示・管理（HEMS）の導入	1	0	2	1	5	0	9
節水型のトイレやシャワーの導入	3	1	2	2	1	0	9	
再生可能エネルギー	自宅への太陽光発電設備の導入	2	0	5	1	1	0	9
	自宅への蓄電池の導入	1	0	5	0	3	0	9
	再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	0	0	6	0	3	0	9
リサイクル削減・	ごみの分別徹底、ごみ減量	8	0	1	0	0	0	9
	マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用	9	0	0	0	0	0	9
	食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）	8	0	0	1	0	0	9
	リサイクルショップやフリマアプリの活用	6	0	1	1	1	0	9
移動	テレワークにより、通勤に伴う移動を削減	1	0	4	0	4	0	9
	公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制	3	0	2	3	1	0	9
	自転車や徒歩での移動	6	0	0	3	0	0	9
	エコドライブの実践	1	0	3	2	3	0	9
	ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入	1	1	2	3	2	0	9
住まい	住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）	3	0	5	1	0	0	9
	省エネ住宅への改修・新築	1	1	6	1	0	0	9
その他	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）	4	1	1	2	1	0	9
	宅配便は一度で受け取る	2	2	4	0	1	0	9
	その他	0	0	0	0	2	0	2
合計		81	11	62	28	34	0	216

10代



(n=9)

■10代

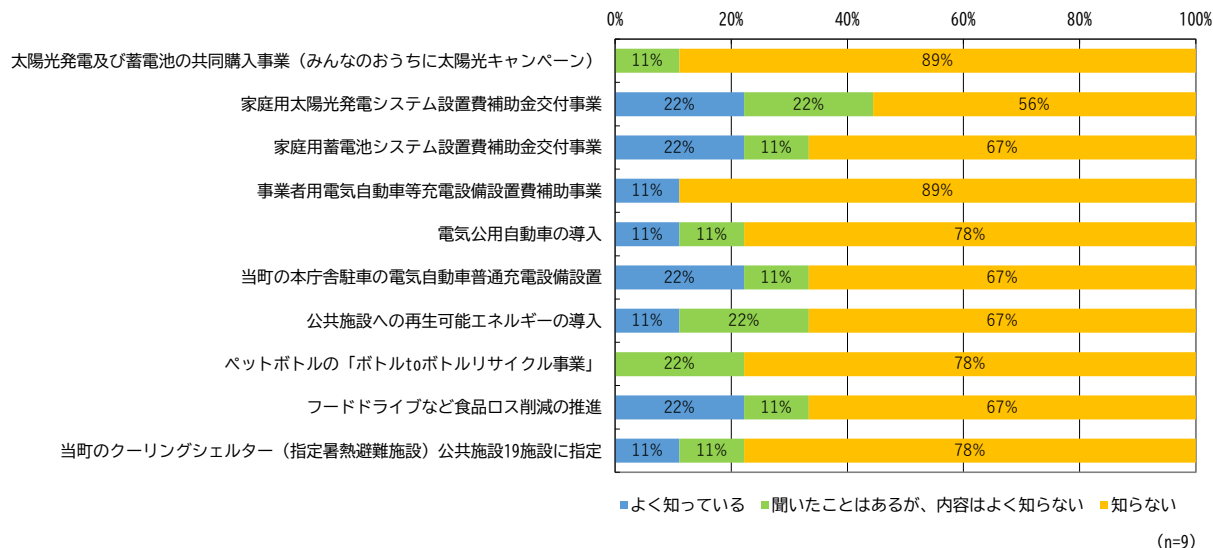
地球温暖化対策に関する現在の取組状況については、実施済の内容として「マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用」が最も多く、今後実施する予定の内容としては「省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え」「エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入」「宅配便は一度で受け取る」、実施する予定はない内容としては「再生可能エネルギー由来の電力への切り替え」「省エネ住宅への改修・新築」、補助があれば実施する内容としては「公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制」「自転車や徒歩での移動」「ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入」が最も多い割合となっている。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目	回答数				
	よく知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	知らない	無回答・不明	回答計
太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）	0	1	8	0	9
家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	2	2	5	0	9
家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業	2	1	6	0	9
事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業	1	0	8	0	9
電気公用自動車の導入	1	1	7	0	9
当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置	2	1	6	0	9
公共施設への再生可能エネルギーの導入	1	2	6	0	9
ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」	0	2	7	0	9
フードドライブなど食品ロス削減の推進	2	1	6	0	9
当町のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定	1	1	7	0	9
合計	12	12	66	0	90

10代



■10代

播磨町が行っているカーボンニュートラルの取組に対する認知度については、よく知っている内容として「家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業」「家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業」「当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置」「フードドライブなど食品ロス削減の推進」が最も多く、聞いたことはあるが内容はよく知らない内容としては「家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業」「公共施設への再生可能エネルギーの導入」「ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」」、知らない内容としては「太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）」「事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業」が最も多い割合となっている。

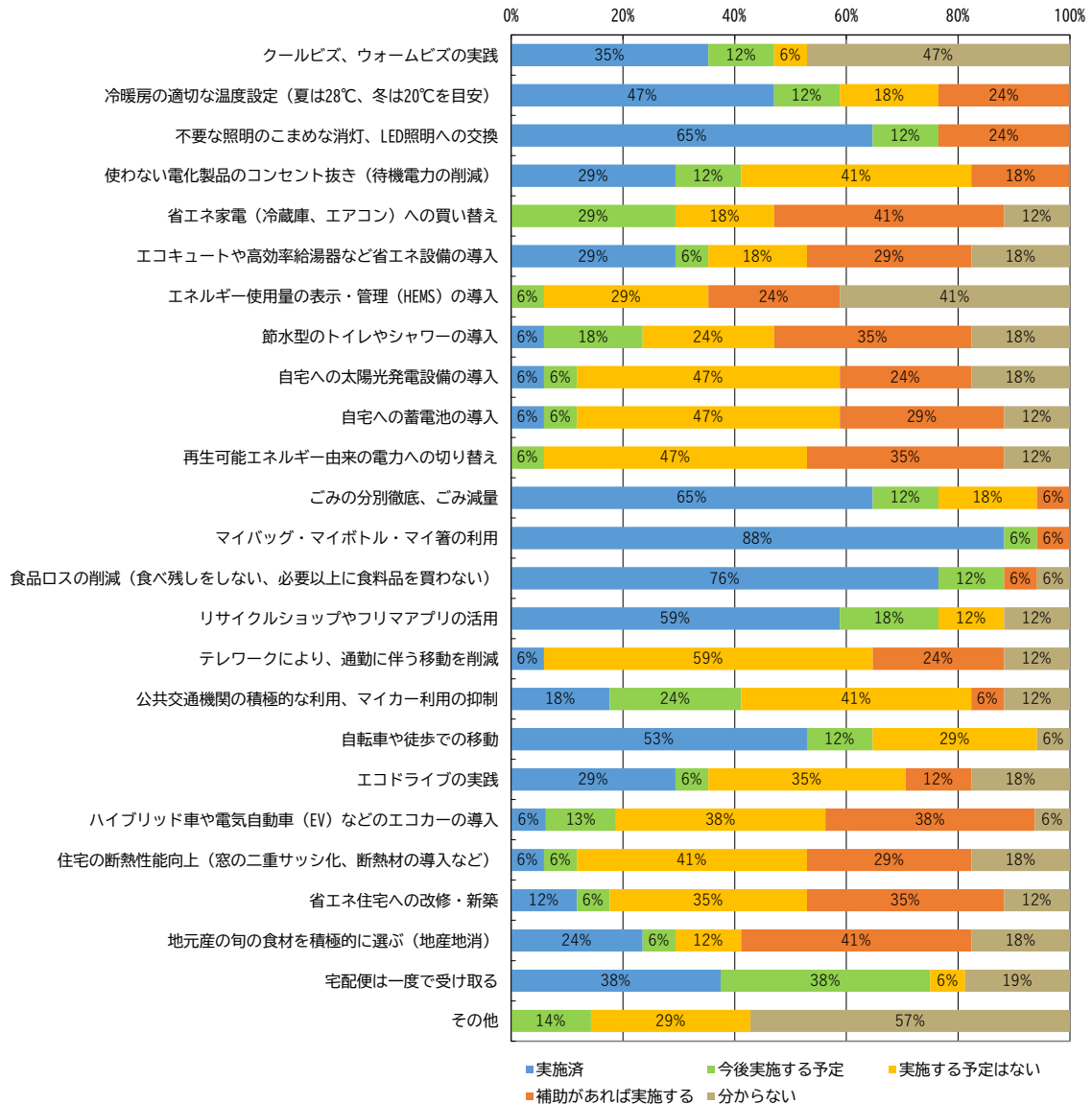
【住民】アンケート結果（年齢別内訳）問7・問10（20代）

3. 日常生活での取組状況

問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目		回答数						回答計
		実施済	今後実施する予定	実施する予定はない	補助があれば実施する	分からない	無回答・不明	
省エネ行動	クールビズ、ウォームビズの実践	6	2	1	0	8	0	17
	冷暖房の適切な温度設定（夏は28℃、冬は20℃を目安）	8	2	3	4	0	0	17
	不要な照明のこまめな消灯、LED照明への交換	11	2	0	4	0	0	17
	使わない電化製品のコンセント抜き（待機電力の削減）	5	2	7	3	0	0	17
	省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え	0	5	3	7	2	0	17
	エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入	5	1	3	5	3	0	17
	エネルギー使用量の表示・管理（HEMS）の導入	0	1	5	4	7	0	17
	節水型のトイレやシャワーの導入	1	3	4	6	3	0	17
再生可能エネルギー	自宅への太陽光発電設備の導入	1	1	8	4	3	0	17
	自宅への蓄電池の導入	1	1	8	5	2	0	17
	再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	0	1	8	6	2	0	17
リサイクル削減・	ごみの分別徹底、ごみ減量	11	2	3	1	0	0	17
	マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用	15	1	0	1	0	0	17
	食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）	13	2	0	1	1	0	17
	リサイクルショップやフリマアプリの活用	10	3	2	0	2	0	17
移動	テレワークにより、通勤に伴う移動を削減	1	0	10	4	2	0	17
	公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制	3	4	7	1	2	0	17
	自転車や徒歩での移動	9	2	5	0	1	0	17
	エコドライブの実践	5	1	6	2	3	0	17
	ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入	1	2	6	6	1	0	16
住まい	住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）	1	1	7	5	3	0	17
	省エネ住宅への改修・新築	2	1	6	6	2	0	17
その他	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）	4	1	2	7	3	0	17
	宅配便は一度で受け取る	6	6	1	0	3	0	16
	その他	0	1	2	0	4	0	7
合計		119	48	107	82	57	0	413

20代



(n=17)

■20代

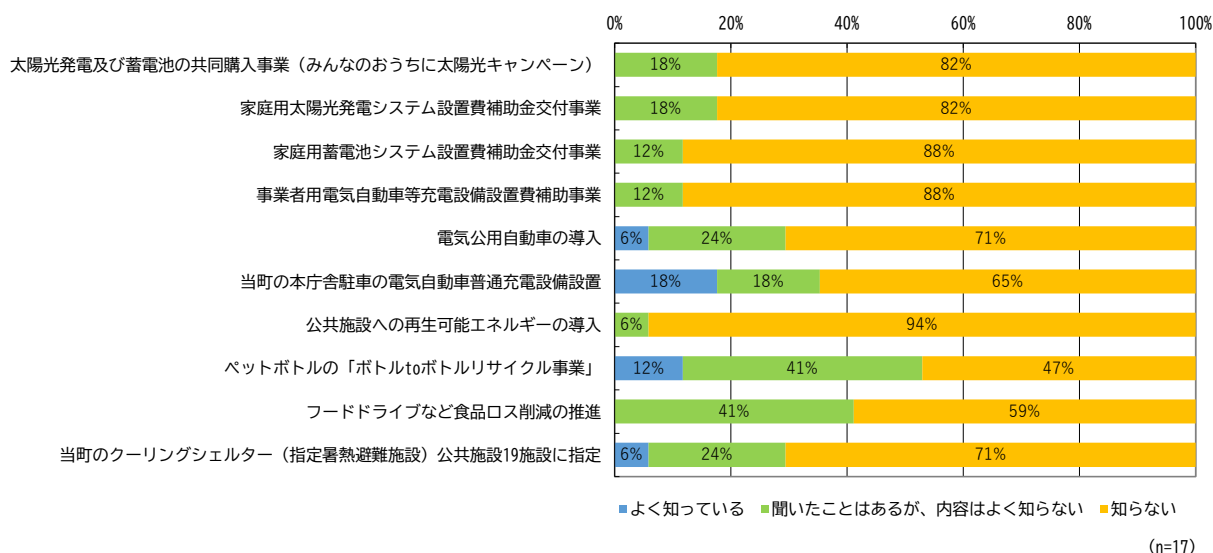
地球温暖化対策に関する現在の取組状況については、実施済の内容として「マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用」が最も多く、今後実施する予定の内容としては「宅配便は一度で受け取る」、実施する予定はない内容としては「テレワークにより、通勤に伴う移動を削減」、補助があれば実施する内容としては「省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え」「地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）」が最も多い割合となっている。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか?各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目	回答数				
	よく知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	知らない	無回答・不明	回答計
太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）	0	3	14	0	17
家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	0	3	14	0	17
家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業	0	2	15	0	17
事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業	0	2	15	0	17
電気公用自動車の導入	1	4	12	0	17
当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置	3	3	11	0	17
公共施設への再生可能エネルギーの導入	0	1	16	0	17
ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」	2	7	8	0	17
フードドライブなど食品ロス削減の推進	0	7	10	0	17
当町のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定	1	4	12	0	17
合計	7	36	127	0	170

20代



■20代

播磨町が行っているカーボンニュートラルの取組に対する認知度については、よく知っている内容として「当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置」が最も多く、聞いたことはあるが内容はよく知らない内容としては「ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」」「フードドライブなど食品ロス削減の推進」、知らない内容としては「公共施設への再生可能エネルギーの導入」が最も多い割合となっている。

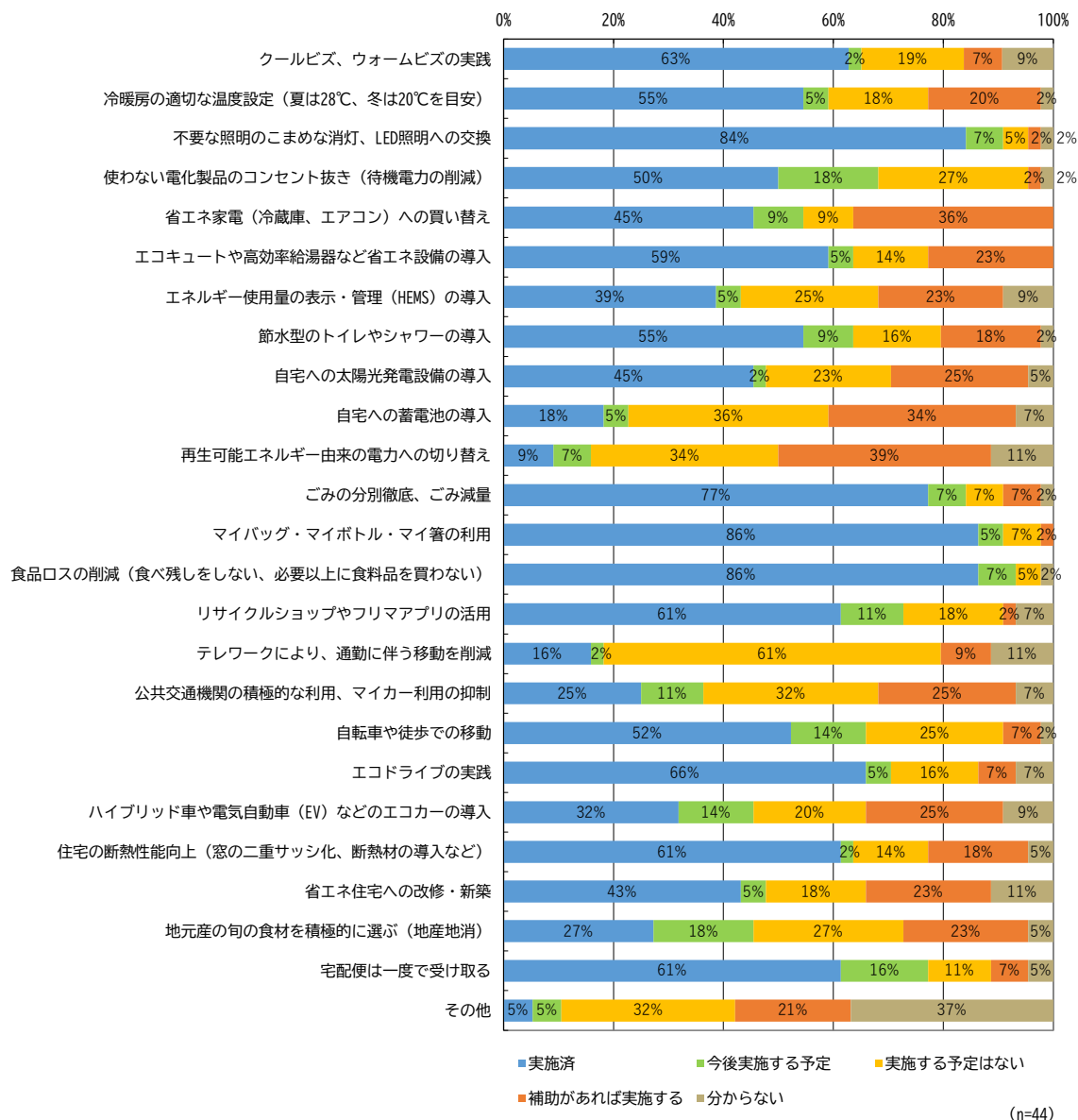
【住民】アンケート結果(年齢別内訳)問7・問10(30代)

3. 日常生活での取組状況

問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか?各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目		回答数						回答計
		実施済	今後実施する予定	実施する予定はない	補助があれば実施する	分からない	無回答・不明	
省エネ行動	クールビズ、ウォームビズの実践	27	1	8	3	4	0	43
	冷暖房の適切な温度設定(夏は28℃、冬は20℃を目安)	24	2	8	9	1	0	44
	不要な照明のこまめな消灯、LED照明への交換	37	3	2	1	1	0	44
	使わない電化製品のコンセント抜き(待機電力の削減)	22	8	12	1	1	0	44
	省エネ家電(冷蔵庫、エアコン)への買い替え	20	4	4	16	0	0	44
	エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入	26	2	6	10	0	0	44
	エネルギー使用量の表示・管理(HEMS)の導入	17	2	11	10	4	0	44
	節水型のトイレやシャワーの導入	24	4	7	8	1	0	44
再生可能エネルギー	自宅への太陽光発電設備の導入	20	1	10	11	2	0	44
	自宅への蓄電池の導入	8	2	16	15	3	0	44
	再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	4	3	15	17	5	0	44
リサイクル削減・	ごみの分別徹底、ごみ減量	34	3	3	3	1	0	44
	マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用	38	2	3	1	0	0	44
	食品ロスの削減(食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない)	38	3	2	0	1	0	44
	リサイクルショップやフリマアプリの活用	27	5	8	1	3	0	44
移動	テレワークにより、通勤に伴う移動を削減	7	1	27	4	5	0	44
	公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制	11	5	14	11	3	0	44
	自転車や徒歩での移動	23	6	11	3	1	0	44
	エコドライブの実践	29	2	7	3	3	0	44
	ハイブリッド車や電気自動車(EV)などのエコカーの導入	14	6	9	11	4	0	44
住まい	住宅の断熱性能向上(窓の二重サッシ化、断熱材の導入など)	27	1	6	8	2	0	44
	省エネ住宅への改修・新築	19	2	8	10	5	0	44
その他	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ(地産地消)	12	8	12	10	2	0	44
	宅配便は一度で受け取る	27	7	5	3	2	0	44
	その他	1	1	6	4	7	0	19
合計		536	84	220	173	61	0	1074

30代



■30代

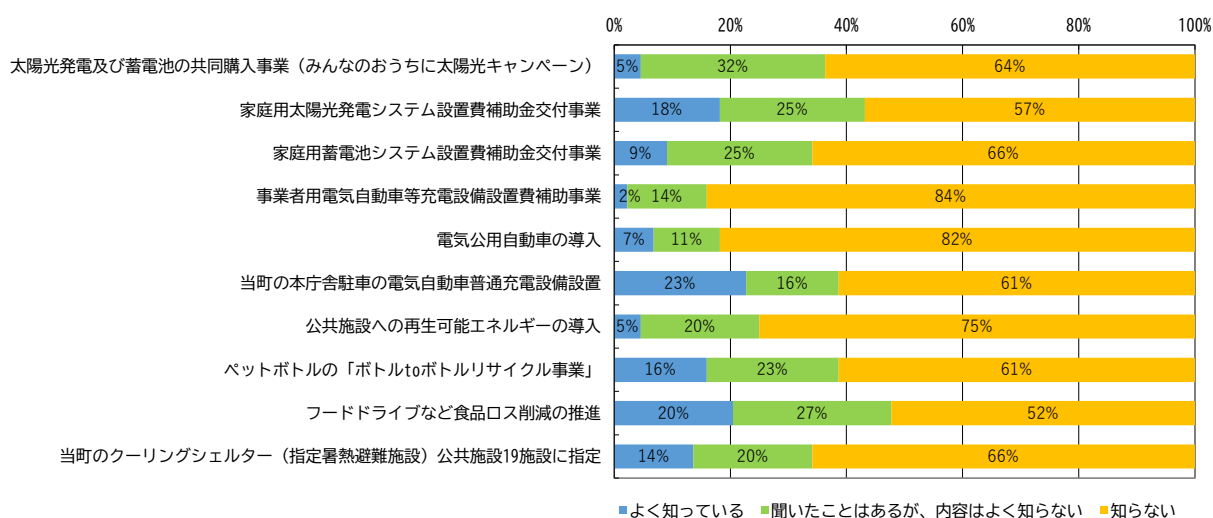
地球温暖化対策に関する現在の取組状況については、実施済の内容として「マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用」「食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）」が最も多く、今後実施する予定の内容としては「使わない電化製品のコンセント抜き（待機電力の削減）」、「地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）」、実施する予定はない内容としては「テレワークにより、通勤に伴う移動を削減」、補助があれば実施する内容としては「再生可能エネルギー由来の電力への切り替え」が最も多い割合となっている。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目	回答数				
	よく知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	知らない	無回答・不明	回答計
太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）	2	14	28	0	44
家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	8	11	25	0	44
家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業	4	11	29	0	44
事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業	1	6	37	0	44
電気公用自動車の導入	3	5	36	0	44
当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置	10	7	27	0	44
公共施設への再生可能エネルギーの導入	2	9	33	0	44
ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」	7	10	27	0	44
フードドライブなど食品ロス削減の推進	9	12	23	0	44
当町のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定	6	9	29	0	44
合計	52	94	294	0	440

30代



(n=44)

■30代

播磨町が行っているカーボンニュートラルの取組に対する認知度については、よく知っている内容として「当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置」が最も多く、聞いたことはあるが内容はよく知らない内容としては「太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）」、知らない内容としては「事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業」が最も多い割合となっている。

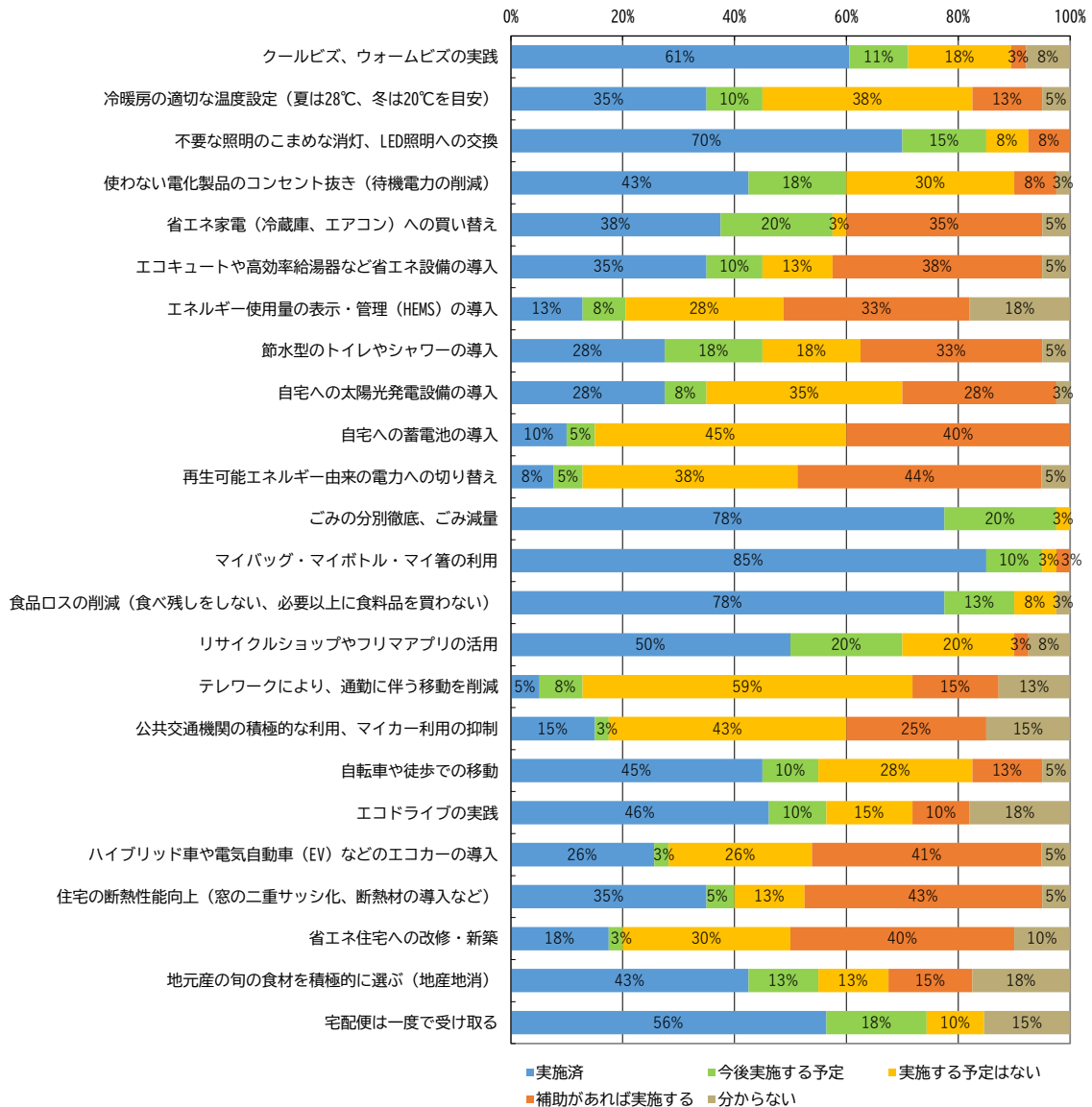
【住民】アンケート結果（年齢別内訳）問7・問10（40代）

3. 日常生活での取組状況

問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目		回答数						回答計
		実施済	今後実施する予定	実施する予定はない	補助があれば実施する	分からない	無回答・不明	
省エネ行動	クールビズ、ウォームビズの実践	23	4	7	1	3	0	38
	冷暖房の適切な温度設定（夏は28℃、冬は20℃を目安）	14	4	15	5	2	0	40
	不要な照明のこまめな消灯、LED照明への交換	28	6	3	3	0	0	40
	使わない電化製品のコンセント抜き（待機電力の削減）	17	7	12	3	1	0	40
	省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え	15	8	1	14	2	0	40
	エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入	14	4	5	15	2	0	40
	エネルギー使用量の表示・管理（HEMS）の導入	5	3	11	13	7	0	39
	節水型のトイレやシャワーの導入	11	7	7	13	2	0	40
再生可能エネルギー	自宅への太陽光発電設備の導入	11	3	14	11	1	0	40
	自宅への蓄電池の導入	4	2	18	16	0	0	40
	再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	3	2	15	17	2	0	39
リサイクル削減・	ごみの分別徹底、ごみ減量	31	8	1	0	0	0	40
	マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用	34	4	1	1	0	0	40
	食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）	31	5	3	0	1	0	40
	リサイクルショップやフリマアプリの活用	20	8	8	1	3	0	40
移動	テレワークにより、通勤に伴う移動を削減	2	3	23	6	5	0	39
	公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制	6	1	17	10	6	0	40
	自転車や徒歩での移動	18	4	11	5	2	0	40
	エコドライブの実践	18	4	6	4	7	0	39
	ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入	10	1	10	16	2	0	39
住まい	住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）	14	2	5	17	2	0	40
	省エネ住宅への改修・新築	7	1	12	16	4	0	40
その他	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）	17	5	5	6	7	0	40
	宅配便は一度で受け取る	22	7	4	0	6	0	39
	その他	1	0	4	1	7	0	13
合計		376	103	218	194	74	0	965

40代



(n=40)

■40代

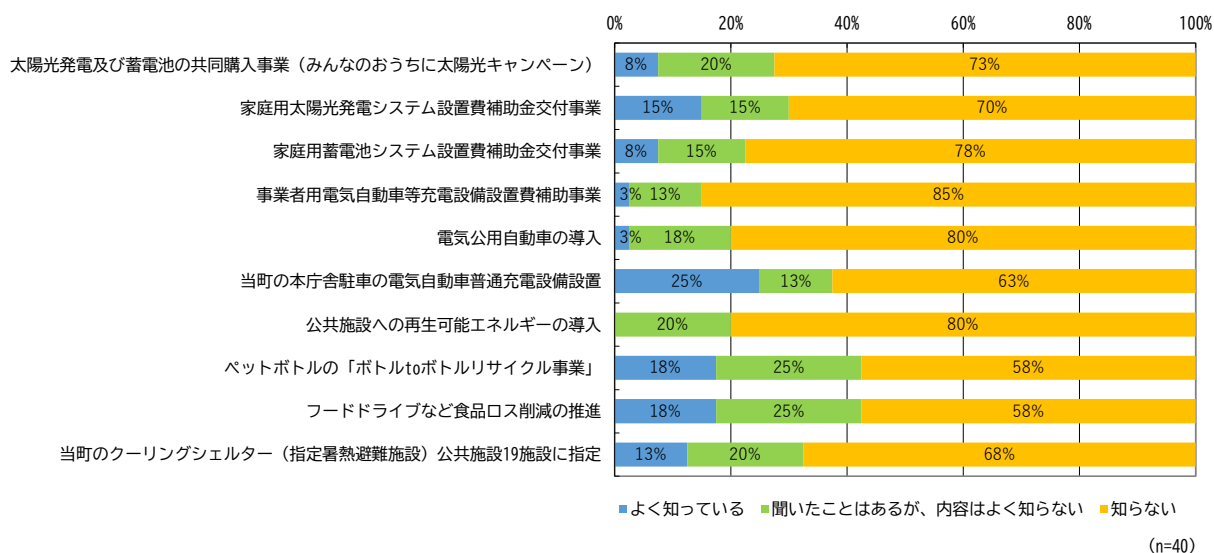
地球温暖化対策に関する現在の取組状況については、実施済の内容として「マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用」が最も多く、今後実施する予定の内容としては「省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え」「ごみの分別徹底、ごみ減量」「リサイクルショップやフリマアプリの活用」、実施する予定はない内容としては「テレワークにより、通勤に伴う移動を削減」、補助があれば実施する内容としては「再生可能エネルギー由来の電力への切り替え」が最も多い割合となっている。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか?各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目	回答数				
	よく知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	知らない	無回答・不明	回答計
太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）	3	8	29	0	40
家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	6	6	28	0	40
家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業	3	6	31	0	40
事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業	1	5	34	0	40
電気公用自動車の導入	1	7	32	0	40
当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置	10	5	25	0	40
公共施設への再生可能エネルギーの導入	0	8	32	0	40
ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」	7	10	23	0	40
フードドライブなど食品ロス削減の推進	7	10	23	0	40
当町のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定	5	8	27	0	40
合計	43	73	284	0	400

40代



■40代

播磨町が行っているカーボンニュートラルの取組に対する認知度については、よく知っている内容として「当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置」が最も多く、聞いたことはあるが内容はよく知らない内容としては「ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」」「フードドライブなど食品ロス削減の推進」、知らない内容としては「事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業」が最も多い割合となっている。

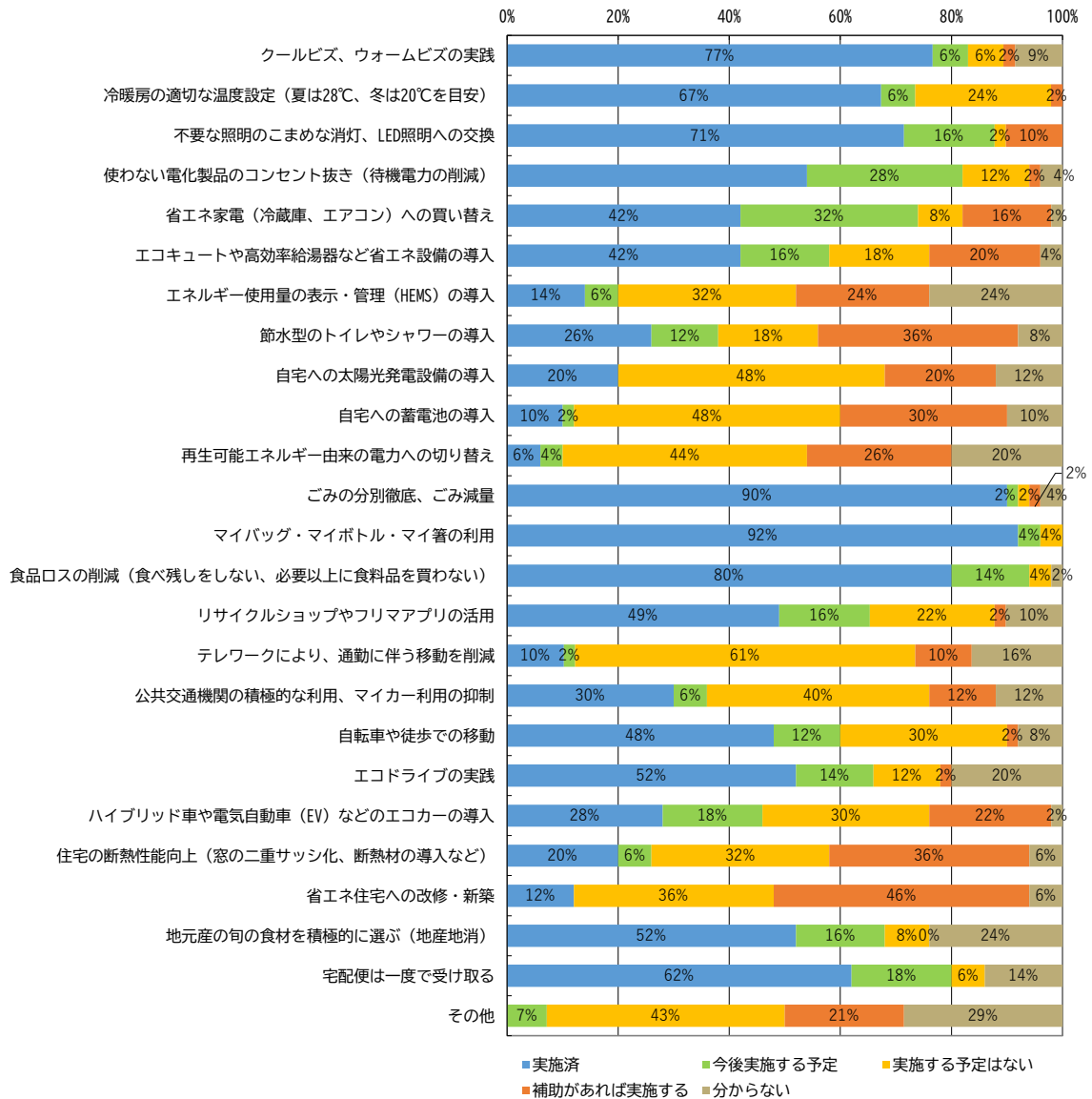
【住民】アンケート結果（年齢別内訳）問7・問10（50代）

3. 日常生活での取組状況

問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目		回答数						回答計
		実施済	今後実施する予定	実施する予定はない	補助があれば実施する	分からない	無回答・不明	
省エネ行動	クールビズ、ウォームビズの実践	36	3	3	1	4	0	47
	冷暖房の適切な温度設定（夏は28℃、冬は20℃を目安）	33	3	12	1	0	0	49
	不要な照明のこまめな消灯、LED照明への交換	35	8	1	5	0	0	49
	使わない電化製品のコンセント抜き（待機電力の削減）	27	14	6	1	2	0	50
	省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え	21	16	4	8	1	0	50
	エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入	21	8	9	10	2	0	50
	エネルギー使用量の表示・管理（HEMS）の導入	7	3	16	12	12	0	50
	節水型のトイレやシャワーの導入	13	6	9	18	4	0	50
再生可能エネルギー	自宅への太陽光発電設備の導入	10	0	24	10	6	0	50
	自宅への蓄電池の導入	5	1	24	15	5	0	50
	再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	3	2	22	13	10	0	50
リサイクル削減・	ごみの分別徹底、ごみ減量	45	1	1	1	2	0	50
	マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用	46	2	2	0	0	0	50
	食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）	40	7	2	0	1	0	50
	リサイクルショップやフリマアプリの活用	24	8	11	1	5	0	49
移動	テレワークにより、通勤に伴う移動を削減	5	1	30	5	8	0	49
	公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制	15	3	20	6	6	0	50
	自転車や徒歩での移動	24	6	15	1	4	0	50
	エコドライブの実践	26	7	6	1	10	0	50
	ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入	14	9	15	11	1	0	50
住まい	住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）	10	3	16	18	3	0	50
	省エネ住宅への改修・新築	6	0	18	23	3	0	50
その他	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）	26	8	4	0	12	0	50
	宅配便は一度で受け取る	31	9	3	0	7	0	50
	その他	0	1	6	3	4	0	14
合計		523	129	279	164	112	0	1,207

50代



(n=51)

■50代

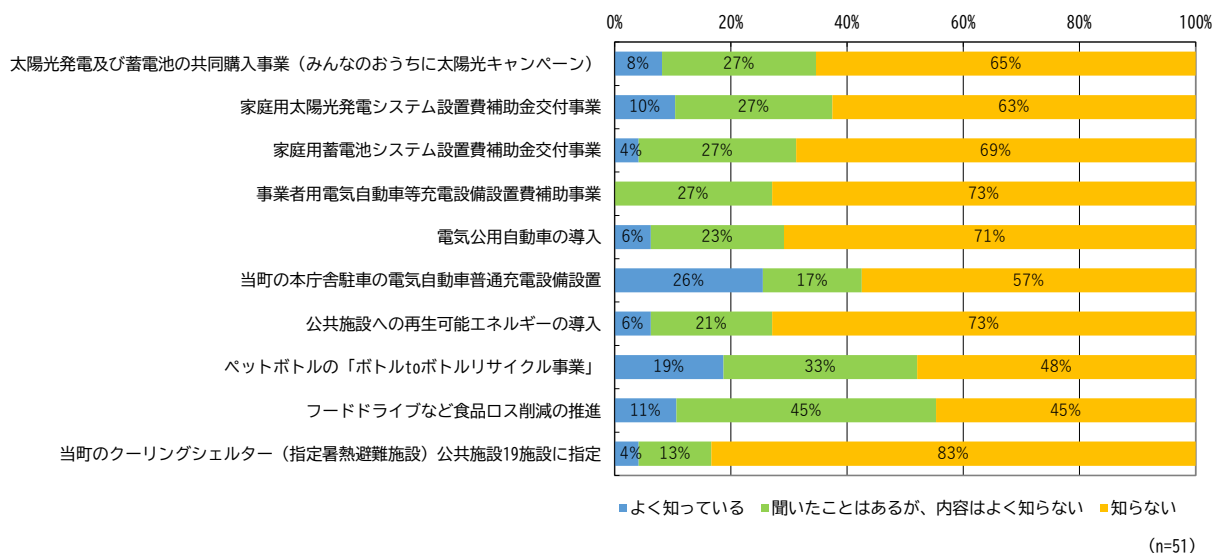
地球温暖化対策に関する現在の取組状況については、実施済の内容として「マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用」が最も多く、今後実施する予定の内容としては「省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え」、実施する予定はない内容としては「テレワークにより、通勤に伴う移動を削減」、補助があれば実施する内容としては「省エネ住宅への改修・新築」が最も多い割合となっている。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目	回答数				
	よく知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	知らない	無回答・不明	回答計
太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）	4	13	32	0	49
家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	5	13	30	0	48
家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業	2	13	33	0	48
事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業	0	13	35	0	48
電気公用自動車の導入	3	11	34	0	48
当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置	12	8	27	0	47
公共施設への再生可能エネルギーの導入	3	10	35	0	48
ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」	9	16	23	0	48
フードドライブなど食品ロス削減の推進	5	21	21	0	47
当町のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定	2	6	40	0	48
合計	45	124	310	0	479

50代



■50代

播磨町が行っているカーボンニュートラルの取組に対する認知度については、よく知っている内容として「当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置」が最も多く、聞いたことはあるが内容はよく知らない内容としては「フードドライブなど食品ロス削減の推進」、知らない内容としては「当町のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定」が最も多い割合となっている。

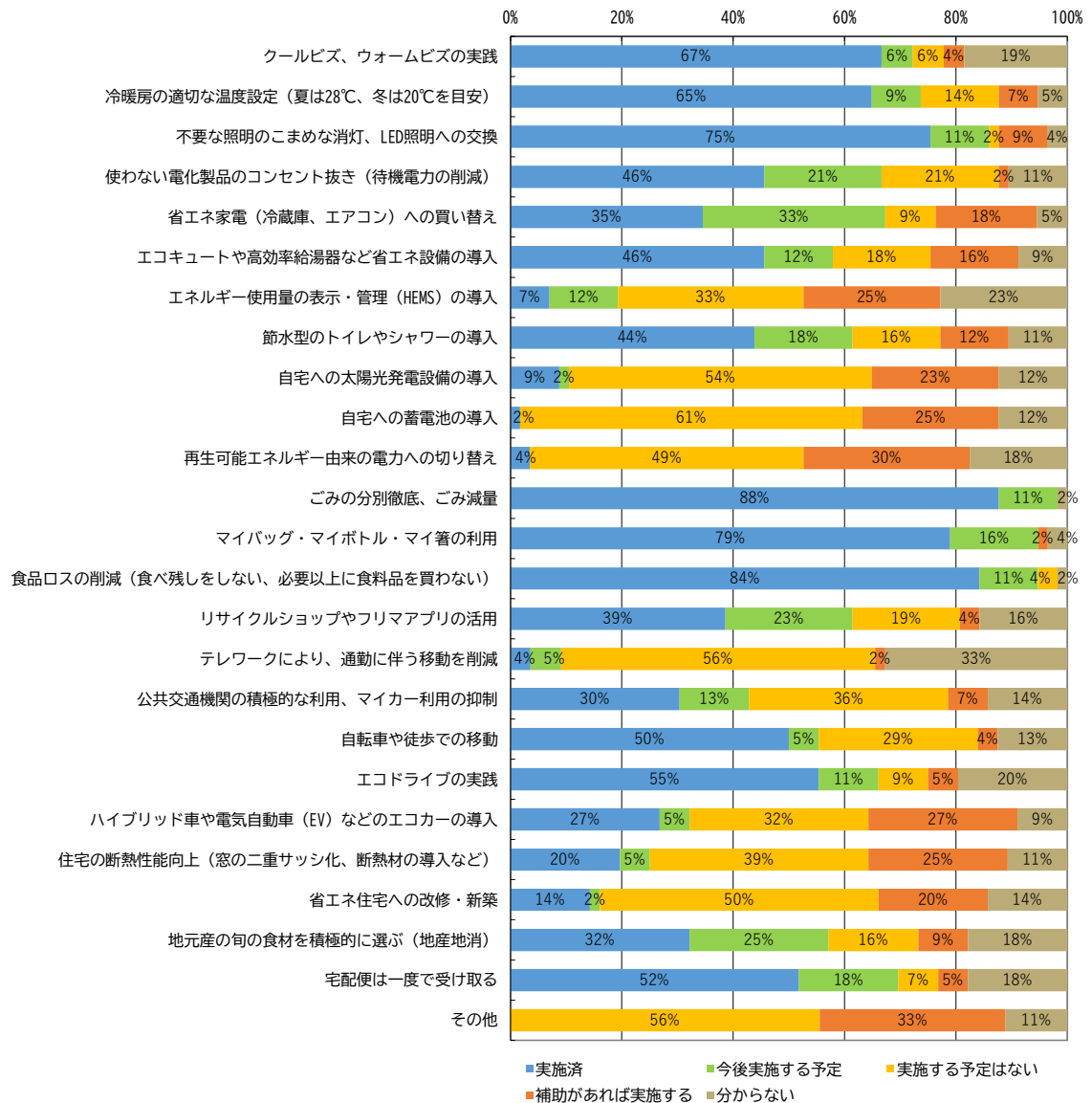
【住民】アンケート結果(年齢別内訳)問7・問10(60代)

3. 日常生活での取組状況

問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目		回答数						回答計
		実施済	今後実施する予定	実施する予定はない	補助があれば実施する	分からない	無回答・不明	
省エネ行動	クールビズ、ウォームビズの実践	36	3	3	2	10	0	54
	冷暖房の適切な温度設定（夏は28℃、冬は20℃を目安）	37	5	8	4	3	0	57
	不要な照明のこまめな消灯、LED照明への交換	43	6	1	5	2	0	57
	使わない電化製品のコンセント抜き（待機電力の削減）	26	12	12	1	6	0	57
	省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え	19	18	5	10	3	0	55
	エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入	26	7	10	9	5	0	57
	エネルギー使用量の表示・管理（HEMS）の導入	4	7	19	14	13	0	57
	節水型のトイレやシャワーの導入	25	10	9	7	6	0	57
再生可能エネルギー	自宅への太陽光発電設備の導入	5	1	31	13	7	0	57
	自宅への蓄電池の導入	1	0	35	14	7	0	57
	再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	2	0	28	17	10	0	57
リサイクル削減・	ごみの分別徹底、ごみ減量	50	6	0	0	1	0	57
	マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用	45	9	0	1	2	0	57
	食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）	48	6	2	0	1	0	57
	リサイクルショップやフリマアプリの活用	22	13	11	2	9	0	57
移動	テレワークにより、通勤に伴う移動を削減	2	3	31	1	18	0	55
	公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制	17	7	20	4	8	0	56
	自転車や徒歩での移動	28	3	16	2	7	0	56
	エコドライブの実践	31	6	5	3	11	0	56
	ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入	15	3	18	15	5	0	56
住まい	住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）	11	3	22	14	6	0	56
	省エネ住宅への改修・新築	8	1	28	11	8	0	56
その他	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）	18	14	9	5	10	0	56
	宅配便は一度で受け取る	29	10	4	3	10	0	56
	その他	0	0	5	3	1	0	9
合計		548	153	332	160	169	0	1,362

60代



(n=57)

■60代

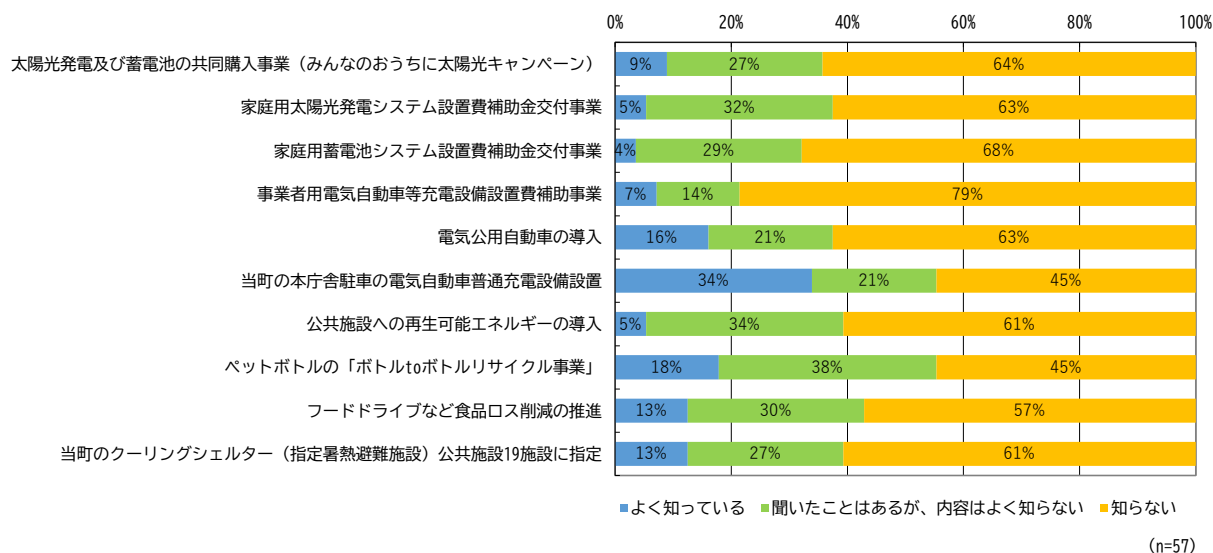
地球温暖化対策に関する現在の取組状況については、実施済の内容として「ごみの分別徹底、ごみ減量」が最も多く、今後実施する予定の内容としては「省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え」、実施する予定はない内容としては「自宅への蓄電池の導入」、補助があれば実施する内容としては「その他」が最も多い割合となっている。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目	回答数				
	よく知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	知らない	無回答・不明	回答計
太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）	5	15	36	0	56
家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	3	18	35	0	56
家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業	2	16	38	0	56
事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業	4	8	44	0	56
電気公用自動車の導入	9	12	35	0	56
当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置	19	12	25	0	56
公共施設への再生可能エネルギーの導入	3	19	34	0	56
ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」	10	21	25	0	56
フードドライブなど食品ロス削減の推進	7	17	32	0	56
当町のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定	7	15	34	0	56
合計	69	153	338	0	560

60代



■60代

播磨町が行っているカーボンニュートラルの取組に対する認知度については、よく知っている内容として「当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置」が最も多く、聞いたことはあるが内容はよく知らない内容としては「ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」」、知らない内容としては「事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業」が最も多い割合となっている。

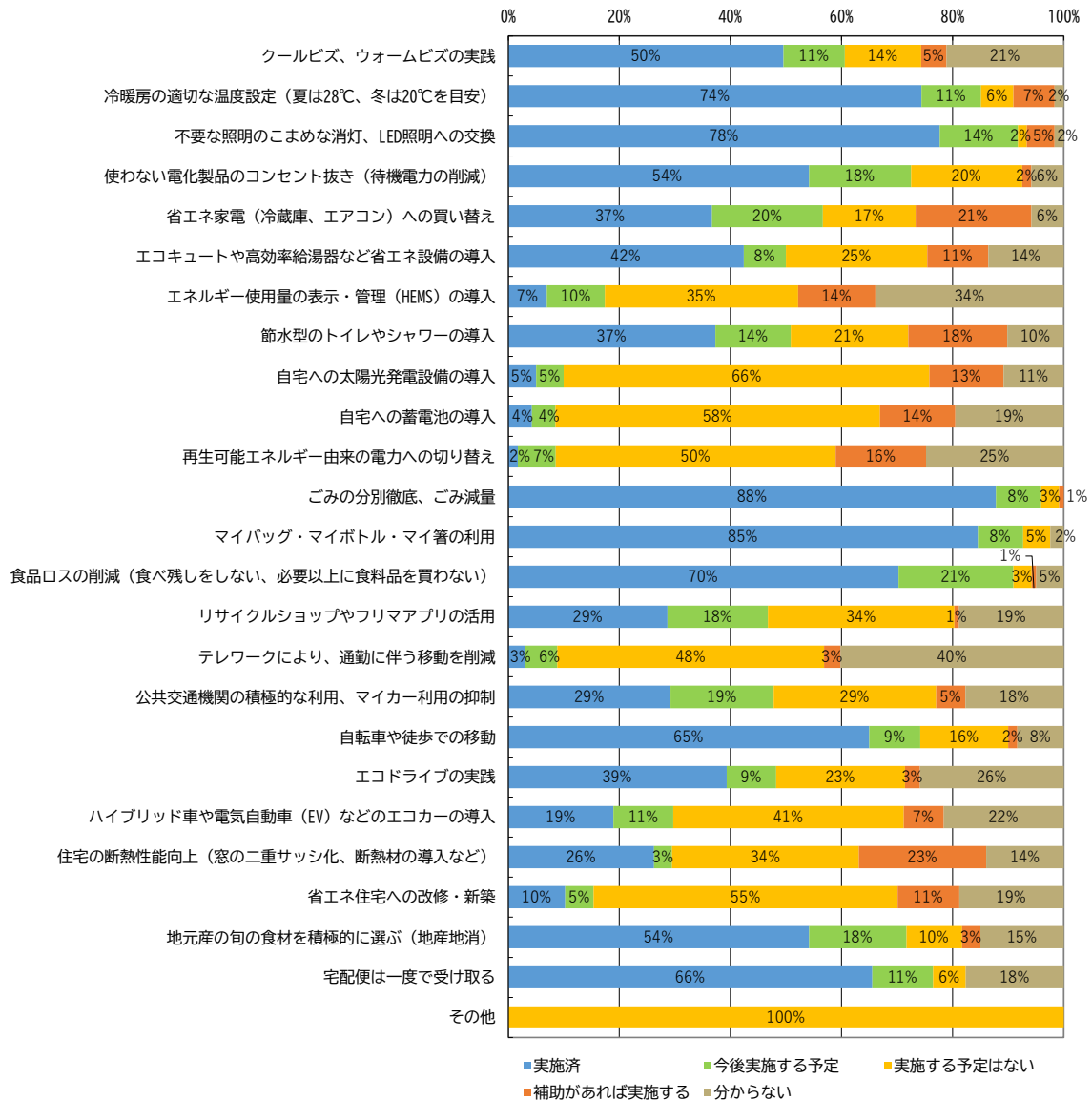
【住民】アンケート結果(年齢別内訳) 問7・問10(70代以上)

3. 日常生活での取組状況

問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目		回答数						回答計
		実施済	今後実施する予定	実施する予定はない	補助があれば実施する	分からない	無回答・不明	
省エネ行動	クールビズ、ウォームビズの実践	54	12	15	5	23	0	109
	冷暖房の適切な温度設定（夏は28℃、冬は20℃を目安）	90	13	7	9	2	0	121
	不要な照明のこまめな消灯、LED照明への交換	94	17	2	6	2	0	121
	使わない電化製品のコンセント抜き（待機電力の削減）	65	22	24	2	7	0	120
	省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え	44	24	20	25	7	0	120
	エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入	50	9	30	13	16	0	118
	エネルギー使用量の表示・管理（HEMS）の導入	8	12	40	16	39	0	115
	節水型のトイレやシャワーの導入	44	16	25	21	12	0	118
再生可能エネルギー	自宅への太陽光発電設備の導入	6	6	79	16	13	0	120
	自宅への蓄電池の導入	5	5	69	16	23	0	118
	再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	2	8	59	19	29	0	117
リサイクル削減・	ごみの分別徹底、ごみ減量	108	10	4	1	0	0	123
	マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用	104	10	6	0	3	0	123
	食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）	85	25	4	1	6	0	121
	リサイクルショップやフリマアプリの活用	35	22	41	1	23	0	122
移動	テレワークにより、通勤に伴う移動を削減	3	6	49	3	41	0	102
	公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制	33	21	33	6	20	0	113
	自転車や徒歩での移動	78	11	19	2	10	0	120
	エコドライブの実践	44	10	26	3	29	0	112
	ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入	21	12	46	8	24	0	111
住まい	住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）	32	4	41	28	17	0	122
	省エネ住宅への改修・新築	12	6	64	13	22	0	117
その他	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）	65	21	12	4	18	0	120
	宅配便は一度で受け取る	78	13	7	0	21	0	119
	その他	0	0	3	0	0	0	3
合計		1,160	315	725	218	407	0	2,825

70 代以上



(n=126)

■70代

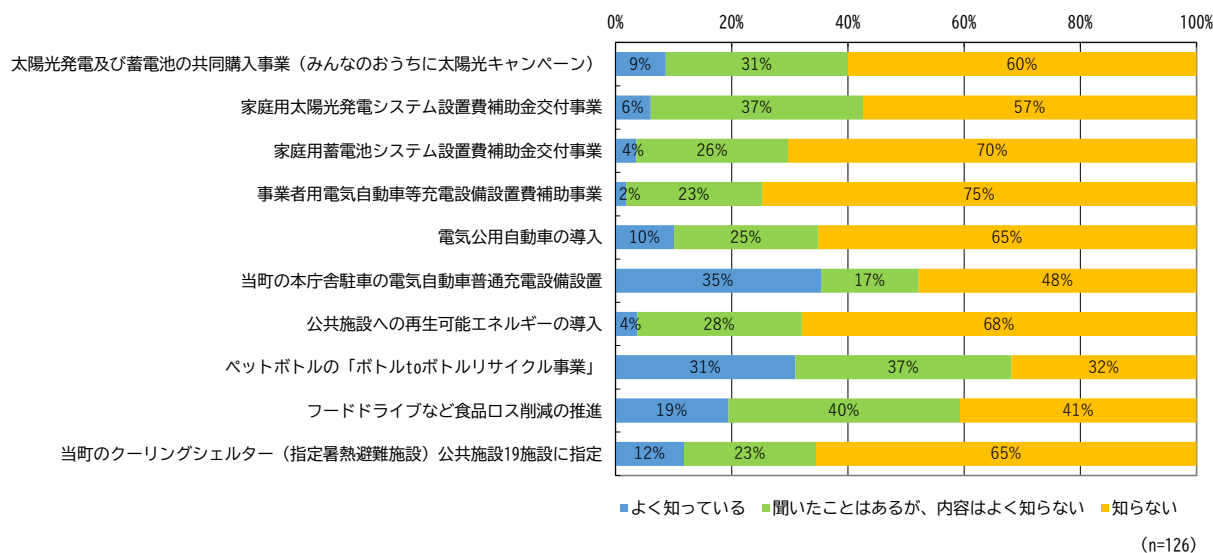
地球温暖化対策に関する現在の取組状況については、実施済の内容として「ごみの分別徹底、ごみ減量」が最も多く、今後実施する予定の内容としては「食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）」、実施する予定はない内容としては「その他」、補助があれば実施する内容としては「住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）」が最も多い割合となっている。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項目	回答数				
	よく知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	知らない	無回答・不明	回答計
太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのおうちに太陽光キャンペーン）	10	36	69	0	115
家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	7	42	66	0	115
家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業	4	29	78	0	111
事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業	2	25	80	0	107
電気公用自動車の導入	11	27	71	0	109
当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置	40	19	54	0	113
公共施設への再生可能エネルギーの導入	4	30	72	0	106
ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」	35	42	36	0	113
フードドライブなど食品ロス削減の推進	21	43	44	0	108
当町のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定	13	25	72	0	110
合計	147	318	642	0	1,107

70代以上



■70代

播磨町が行っているカーボンニュートラルの取組に対する認知度については、よく知っている内容として「当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置」が最も多く、聞いたことはあるが内容はよく知らない内容としては「フードドライブなど食品ロス削減の推進」、知らない内容としては「事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業」が最も多い割合となっている。